

英語 科 1 年 英語コミュニケーションⅠ 年間授業計画（シラバス）					
科目名	英語コミュニケーションⅠ	対象	スポーツ	コース	単位数 3 単位
教科書	Power On English CommunicationⅠ 出版社 東京書籍				
副教材	Power On English CommunicationⅠ WORKBOOK ターゲット 1400 transfer 英語総合問題演習A				

1 学習の到達目標

日常的・社会的な話題について、多くの支援を活用すれば、	
1.	必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。
2.	必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。
3.	基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けたり、論理性に注意して話して伝え合ったりすることができる。
4.	基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができる。
5.	基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができる。

2 評価の観点・内容・方法、及び成績評価の方法

①評価の観点・内容・方法

評価の 観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の 内容	・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深めている。 ・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的话题や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。
評価の 方法	定期考査 学力テスト 単元テスト 小テスト レポート 授業観察など	定期考査 学力テスト 単元テスト 小テスト レポート 授業観察など	学習課題 ワークシート レポート ノート 授業観察など

②成績評価の方法

①の評価の方法によって、学年末に評定にまとめます。

評価の内容 知識・技能 35%，思考・判断・表現 35%，主体的に学習に取り組む態度 30%

3 学習計画

※評価の観点：a（知識・技能）、b（思考・判断・表現）、c（主体的に学習に取り組む態度）

月	学 習 単 元	主 な 学 習 内 容 と 到 達 目 標	評価の観点			時間数
			a	b	c	
	予習復習体験学習 Unit 1 Japan's New Tourism Unit 2 Light from Creatures <1 学期中間考査>	・予習復習の体験学習をする。 ・動詞の現在形・過去形，進行形，助動詞＋動詞の原形を用いた文の形・意味・用法を理解できる。 ・過去と現在の日本の観光の状況について，動詞の現在形・過去形，進行形，助動詞＋動詞の原形などの理解を基に，必要な情報や話し手・書き手の意図，概要や要点を目的に応じて捉えたり，自分の住んでいる地域の魅力について，基本的な語句や文を用いて，情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えることができる。 ・過去と現在の日本の観光の状況について，必要な情報，話し手・書き手の意図，概要や要点を捉えたり，聞いたり読んだりしたことを活用しながら，自分の住んでいる地域の魅力について，情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えることができる。 ・受け身，現在完了形，現在完了進行形を用いた文の形・意味・用法を理解できる。 ・光る生き物やその光が医療研究に利用されていることについて，受け身，現在完了形，現在完了進行形などの理解を基に，必要な情報や話し手・書き手の意図，概要や要点を目的に応じて捉えたり，光る生き物について，基本的な語句や文を用いて，情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えることができる。 ・光る生き物やその光が医療研究に利用されていることについて，必要な情報，話し手・書き手の意図，概要や要点を捉えたり，聞いたり読んだりしたことを活用しながら，光る生き物について，情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えることができる。 ・動名詞，不定詞，S＋V＋O [that 節] を用いた文の形・意味・用法を理解できる。	○			14
	Unit 3 Routes to the Top	・野口選手や好きなスポーツ選手について，動詞の現在形・過去形，進行形，助動詞＋動詞の原形などの理解を基に，必要な情報や話し手・書き手の意図，概要や要点を目的に応じて捉えたり，自分や友達の好きなスポーツ選手について，基本的な語句や文を用いて，情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えることができる。 ・野口選手や好きなスポーツ選手について，必要な情報，話し手・書き手の意図，概要や要点を捉えたり，聞いたり読んだりしたことを活用しながら，自分や友達の好きなスポーツ選手について，情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えることができる。	○			
	<1 学期期末考査>	・後置修飾の現在分詞，後置修飾の過去分詞，比較級・最上級を用いた文の形・意味・用法を理解できる。	○			
	Unit 4 Left to Right, Right?	・日本や海外のマンガの形式やその翻訳について，動詞の現在形・過去形，進行形，助動詞＋動詞の原形などの理解を	○			
				○	○	19

	して伝えることができる。 ・プラスチックごみによる海洋汚染について、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、プラスチックごみに関する話題やごみを減らす対策について、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えることができる。	○	○		22
<2 学期期末考査> Unit 8 Oh My Cod!	・現在分詞の分詞構文，関係代名詞の非制限用法，過去完了形を用いた文の形・意味・用法を理解できる。 ・食料資源，フィッシュ・アンド・チップスの起源や歴史について，現在分詞の分詞構文，関係代名詞の非制限用法，過去完了形などの理解を基に，必要な情報や話し手・書き手の意図，概要や要点を目的に応じて捉えたり，食べ物やマグロ漁獲量の現状について，基本的な語句や文を用いて，情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えることができる。 ・食料資源，フィッシュ・アンド・チップスの起源や歴史について，必要な情報，話し手・書き手の意図，概要や要点を捉えたり，聞いたり読んだりしたことを活用しながら，食べ物やマグロ漁獲量の現状について，情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えることができる。	○	○	○	
Unit 9 Is E-sports a Real Sport?	・S+V [知覚] +O+C [現在分詞，原形不定詞]，S+V [使役] +O+C [原形不定詞]，S+V+O₁+O₂ [if などの節]を用いた文の形・意味・用法を理解できる。 ・e スポーツの現状，利点や欠点について，S+V [知覚] +O+C [現在分詞，原形不定詞]，S+V [使役] +O+C [原形不定詞]，S+V+O₁+O₂ [if などの節]などの理解を基に，必要な情報や話し手・書き手の意図，概要や要点を目的に応じて捉えたり，e スポーツやe スポーツの利点について，基本的な語句や文を用いて，自分の考えや意見などを論理性に注意して話したり書いたりして伝えることができる。 ・e スポーツの現状，利点や欠点について，必要な情報，話し手・書き手の意図，概要や要点を捉えたり，聞いたり読んだりしたことを活用しながら，e スポーツやe スポーツの利点について，情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えることができる。	○	○	○	
<学年末考査>					18

※学習状況により、進度・内容を変更することがあります。

英語 科 1 年 英語コミュニケーションⅠ 年間授業計画（シラバス）					
科目名	英語コミュニケーションⅠ	対象	進学	コース	単位数 3 単位
教科書	Power On English Communication I 出版社 東京書籍				
副教材	Power On English Communication I WORKBOOK ターゲット 1400 transfer 英語総合問題演習 A				

1 学習の到達目標

日常的・社会的な話題について、多くの支援を活用すれば、 1.必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。 2.必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。 3.基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けたり、論理性に注意して話して伝え合ったりすることができる。 4.基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができる。 5.基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができる。

2 評価の観点・内容・方法、及び成績評価の方法

①評価の観点・内容・方法

評価の 観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の 内容	・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深めている。 ・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。
評価の 方法	定期考査 学力テスト 単元テスト 小テスト レポート 授業観察など	定期考査 学力テスト 単元テスト 小テスト レポート 授業観察など	学習課題 ワークシート レポート ノート 授業観察など

②成績評価の方法

①の評価の方法によって、学年末に評定にまとめます。

評価の内容 知識・技能 35%，思考・判断・表現 35%，主体的に学習に取り組む態度 30%

※評価の観点：a（知識・技能）、b（思考・判断・表現）、c（主体的に学習に取り組む態度）

月	学 習 単 元	主 な 学 習 内 容 と 到 達 目 標	評価の観点			時間数
			a	b	c	
	予習復習体験学習 Unit 1 Japan's New Tourism	・予習復習の体験学習をする。 ・動詞の現在形・過去形，進行形，助動詞＋動詞の原形を用いた文の形・意味・用法を理解できる。 ・過去と現在の日本の観光の状況について，動詞の現在形・過去形，進行形，助動詞＋動詞の原形などの理解を基に，必要な情報や話し手・書き手の意図，概要や要点を目的に応じて捉えたり，自分の住んでいる地域の魅力について，基本的な語句や文を用いて，情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えることができる。 ・過去と現在の日本の観光の状況について，必要な情報，話し手・書き手の意図，概要や要点を捉えたり，聞いたり読んだりしたことを活用しながら，自分の住んでいる地域の魅力について，情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えることができる。 ・受け身，現在完了形，現在完了進行形を用いた文の形・意味・用法を理解できる。	○ ○			14
	Unit 2 Light from Creatures	・光る生き物やその光が医療研究に利用されていることについて，受け身，現在完了形，現在完了進行形などの理解を基に，必要な情報や話し手・書き手の意図，概要や要点を目的に応じて捉えたり，光る生き物について，基本的な語句や文を用いて，情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えることができる。	○			
	<1 学期中間考査>	・光る生き物やその光が医療研究に利用されていることについて，必要な情報，話し手・書き手の意図，概要や要点を捉えたり，聞いたり読んだりしたことを活用しながら，光る生き物について，情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えることができる。		○	○	
	Unit 3 Routes to the Top	・動名詞，不定詞，S+V+O [that 節] を用いた文の形・意味・用法を理解できる。 ・野口選手や好きなスポーツ選手について，動詞の現在形・過去形，進行形，助動詞＋動詞の原形などの理解を基に，必要な情報や話し手・書き手の意図，概要や要点を目的に応じて捉えたり，自分や友達の好きなスポーツ選手について，基本的な語句や文を用いて，情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えることができる。	○ ○			
		・野口選手や好きなスポーツ選手について，必要な情報，話し手・書き手の意図，概要や要点を捉えたり，聞いたり読んだりしたことを活用しながら，自分や友達の好きなスポーツ選手について，情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えることができる。		○	○	
	<1 学期期末考査>	・後置修飾の現在分詞，後置修飾の過去分詞，比較級・最上級を用いた文の形・意味・用法を理解できる。	○ ○			19

	Unit 4 Left to Right, Right? Unit 5 Banana Paper <2 学期中間考査> Unit 6 Patterns in Human Behavior Unit 7 No Plastic or No Future	・日本や海外のマンガの形式やその翻訳について、動詞の現在形・過去形、進行形、助動詞＋動詞の原形などの理解を基に、必要な情報や話し手・書き手の意図、概要や要点を目的に応じて捉えたり、日本のマンガやその形式について、基本的な語句や文を用いて、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えることができる。 ・日本や海外のマンガの形式やその翻訳について、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、日本のマンガやその形式について、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えることができる。 ・関係代名詞（主格）、関係代名詞（目的格）、S＋seem＋to 不定詞を用いた文の形・意味・用法を理解できる。 ・バナナやバナナペーパー、バナナペーパープロジェクトについて、関係代名詞（主格）、関係代名詞（目的格）、S＋seem＋to 不定詞などの理解を基に、必要な情報や話し手・書き手の意図、概要や要点を目的に応じて捉えたり、バナナペーパー製品やバナナペーパーの販売促進について、基本的な語句や文を用いて、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えることができる。 ・バナナやバナナペーパー、バナナペーパープロジェクトについて、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、バナナペーパー製品やバナナペーパーの販売促進について、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えることができる。 ・It＋be 動詞＋形容詞＋that 節、S＋V [be 動詞以外＋C]、S＋V＋O＋C [形容詞] を用いた文の形・意味・用法を理解できる。 ・人間行動に関する心理学実験の手順や結果について、It＋be 動詞＋形容詞＋that 節、S＋V [be 動詞以外＋C]、S＋V＋O＋C [形容詞] などの理解を元に、必要な情報や話し手・書き手の意図、概要や要点を目的に応じて捉えたり、人間の行動に関する話題や行動をコントロールする方法について、基本的な語句や文を用いて、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えることができる。 ・人間の行動に関する心理学実験の手順や結果について、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、人間の行動に関する話題や行動をコントロールする方法について、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えることができる。 ・関係副詞 where、関係副詞 when、関係代名詞 what を用いた文の形・意味・用法を理解できる。 ・プラスチックごみによる海洋汚染について、動詞の関係副詞 where、関係副詞 when、関係代名詞 what などの理解を基に、必要な情報や話し手・書き手の意図、概要や要点を目的に応じて捉えたり、プラスチックごみに関する話題やご	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	22
--	---	---	--	--	--	-----------

英語 科 1 年 英語コミュニケーションⅠ 年間授業計画（シラバス）					
科目名	英語コミュニケーションⅠ	対象	特進 コース	単位数	4 単位
教科書	ENRICH LEARNING English Communication I 出版社 東京書籍				
副教材	ENRICH LEARNING English Communication I 本文学習ノート				
	ENRICH LEARNING English Communication I WORKBOOK				
	システム英単語 transfer 英語総合問題演習 A transfer 英語総合問題演習 B				

1 学習の到達目標

日常的・社会的な話題について、多くの支援を活用すれば、
1.必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。
2.必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。
3.基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けたり、論理性に注意して話して伝え合ったりすることができる。
4.基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができる。
5.基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができる。

2 評価の観点・内容・方法、及び成績評価の方法

①評価の観点・内容・方法

評価の 観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の 内容	・外国語の音声や語彙, 表現, 文法, 言語の働きなどについて理解を深めている。 ・外国語の音声や語彙, 表現, 文法, 言語の働きなどの知識を, 聞くこと, 読むこと, 話すこと, 書くことによる実際のコミュニケーションにおいて, 目的や場面, 状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面, 状況などに応じて, 日常的话题や社会的な話題について, 外国語で情報や考えなどの概要や要点, 詳細, 話し手や書き手の意図などを的確に理解したり, これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め, 聞き手, 読み手, 話し手, 書き手に配慮しながら, 主体的, 自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。
評価の 方法	定期考査 学力テスト 単元テスト 小テスト レポート 授業観察など	定期考査 学力テスト 単元テスト 小テスト レポート 授業観察など	学習課題 ワークシート レポート ノート 授業観察など

②成績評価の方法

①の評価の方法によって、学年末に評定にまとめます。

評価の内容 知識・技能 35%, 思考・判断・表現 35%, 主体的に学習に取り組む態度 30%

3 学習計画

※評価の観点：a（知識・技能）、b（思考・判断・表現）、c（主体的に学習に取り組む態度）

月	学 習 単 元	主 な 学 習 内 容 と 到 達 目 標	評価の観点			時間数
			a	b	c	
4	予習復習体験学習 Unit 1 What can happen in one second?	- 予習復習の体験学習をする。 - 受け身、不定詞、動名詞を用いた文の形・意味・用法を理解できる。 - 疑問詞やつなぎ言葉について、プレゼンテーションのスタイルに対応した適切な用法を理解できる。 - 疑問詞やつなぎ言葉などを用いて、身のまわりや世界で起きている話題について、聞き手へ問いかけたり、理由や根拠を示すなどしたりしながら、自分の考えや気持ちを話して伝えることができる。 - 情報伝達型プレゼンテーションの場面で、身のまわりや世界で起きている話題について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考えなどを、聞き手にわかりやすく話して伝えることができる。	○			20
5	Unit 2 What do superstitions mean to you? < 1 学期中間考査 >	- 助動詞＋受け身、現在完了進行形を用いた文の形・意味・用法を理解できる。 - 条件節と帰結節を用いて、要点を書いたり、具体例を提示したりしながら物事を描写する方法を理解できる。 - 条件節と帰結節などを用いて、迷信や信念について、読み手が誰であることを意識しながら、要点を書いたり、具体例を提示したりすることができる。 - ラッキーアイテムを紹介するために、身のまわりの迷信や信念について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、読み手を意識して要点や具体例を書くことができる。	○		○	
6	Unit 3 How can we promote sustainability?	- 分詞の形容詞用法や関係代名詞（省略の形を含む）を用いた文の形・意味・用法を理解できる。 - フォーマルな文体で E メールを書き、目的を伝えたり質問をしたりする方法を理解できる。	○			25
7	< 1 学期期末考査 >	分詞の形容詞用法や関係代名詞（省略の形を含む）などを用いて、フォーマルな文体で、目的を伝えたり質問をしたりすることができる。	○			
8		フォーマルな E メールを書く場面で、環境保全に関する内容について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、読み手を意識して目的を伝えたり質問内容を書くことができる。		○	○	
9	Unit 4 What can we learn from native Hawaiians?	- 現在完了形の受け身、過去完了形を用いた文の形・意味・用法を理解できる。 - 事実と意見を分けたり、ポイントを絞って伝えたりといった、スピーチのスタイルに対応した適切な方法を理解できる。	○			

10	Unit 5 Why do people tell each other stories? < 2 学期中間考査 >	・身のまわりの言葉や文化に関する話題について、事実や意見を分けたり、ポイントを絞ったりしながら、自分の考えや気持ちを話して伝えることができる。 ・スピーチの場面で、身のまわりの言葉や文化に関する話題について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考えなどを、聞き手にわかりやすく話して伝えることができる。 ・SVOC [分詞]，関係副詞 how，助動詞の過去形を用いた文の形・意味・用法を理解できる。 ・体験談を伝えるために、適切な表現や方法を理解できる。 ・体験談を伝える際の表現や方法を用いて、身のまわりの出来事について、聞き手を引き付けながら、わかりやすく伝えるなどし、自分の考えや気持ちを話して伝えることができる。 ・スピーチの場面で、身のまわりの出来事について、体験した内容を基に、聞き手を引き付けながら、わかりやすく自分の考えや気持ちを話して伝えることができる。	○		○	○		
11	Unit 6 What are the qualities of a good leader?	・分詞構文，関係副詞 where [when / why]を用いた文の形・意味・用法を理解できる。 ・リーダーシップに関連した語いや表現を用いるなどして、人物の略歴を紹介する適切な方法を理解できる。	○					
12	< 2 学期期末考査 >	・ある人物について、時系列で書いたり、略歴を紹介したりしながら、関連のある情報を簡潔かつ正確に原稿に書くことができる。 ・ある人物を紹介するために、関連のある情報を時系列で書いたり、略歴を紹介したりし、読み手を意識しながら簡潔かつ正確に紹介文を書くことができる。	○					
1	Unit 7 Where will you live in the future?	・原形不定詞，仮定法過去完了，過去完了進行形を用いた文の形・意味・用法を理解できる。 ・場所に関連した語いや表現を用いるなどして、将来住みたい場所についてのエッセイを書く、適切な方法を理解できる。 ・将来住みたい場所についてのエッセイを書くにあたり、パラグラフの構成を意識して書いたり、本論で理由を具体例とともに述べたりしながら、首尾一貫性のある原稿を書くことができる。 ・将来住みたい場所についての主張を展開するために、パラグラフの構成を意識して書いたり、本論で理由を具体例とともに述べたりし、読み手を意識しながら首尾一貫性のある原稿を書くことができる。	○		○			
2	Unit 8 How do cultures and traditions affect teens?	・関係代名詞 what，関係代名詞の非制限用法を用いた文の形・意味・用法を理解できる。	○					

	lives?	・外国の高校生の日常生活について、自分の生活との類似点や相違点に触れながら、プレゼンテーションの場面でその概要を伝える適切な表現や方法を理解できる。 ・外国の高校生の日常生活について、自分の生活との類似点や相違点に触れながら、プレゼンテーションの場面でその概要を伝えることができる。 ・メモを活用して、プレゼンテーションを行うことができる。 ・プレゼンテーションの場面で、外国の高校生の日常生活について、自分の生活との類似点や相違点に触れながら、メモを活用して、その概要をわかりやすく話して伝えることができる。	○			
3	<学年末考査>		○			
			○			
				○	○	
						26

※学習状況により、進度・内容を変更することがあります。

英語 科 1 年 論理・表現 I 年間授業計画（シラバス）					
科目名	論理・表現 I	対象	スポーツ コース	単位数	2 単位
教科書	FACTBOOK English Logic and Expression I 出版社 桐原書店				
副教材	FACTBOOK English Logic and Expression I Workbook【Essential】				

1 学習の到達目標

日常的・社会的な話題について，多くの支援を活用すれば，	
1.	基本的な語句や文を用いて，情報や考え，気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けたり，論理性に注意して話して伝え合ったりすることができる。
2.	基本的な語句や文を用いて，情報や考え，気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができる。
3.	基本的な語句や文を用いて，情報や考え，気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができる。

2 評価の観点・内容・方法，及び成績評価の方法

①評価の観点・内容・方法

評価の 観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の 内容	・外国語の音声や語彙，表現，文法，言語の働きなどについて理解を深めている。 ・外国語の音声や語彙，表現，文法，言語の働きなどの知識を，聞くこと，読むこと，話すこと，書くことによる実際のコミュニケーションにおいて，目的や場面，状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面，状況などに応じて，日常的な話題や社会的な話題について，外国語で情報や考えなどの概要や要点，詳細，話し手や書き手の意図などを的確に理解したり，これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め，聞き手，読み手，話し手，書き手に配慮しながら，主体的，自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。
評価の 方法	定期考査 学力テスト 単元テスト 小テスト レポート 授業観察など	定期考査 学力テスト 単元テスト 小テスト レポート 授業観察など	学習課題 ワークシート レポート ノート 授業観察など

②成績評価の方法

①の評価の方法によって，学年末に評定にまとめます。

評価の内容 知識・技能 35%，思考・判断・表現 35%，主体的に学習に取り組む態度 30%

3 学習計画

※評価の観点：a（知識・技能）、b（思考・判断・表現）、c（主体的に学習に取り組む態度）

月	学 習 単 元	主 な 学 習 内 容 と 到 達 目 標	評価の観点			時間数
			a	b	c	
4	予習復習体験学習	・ 予習復習の体験学習をする。				6
5	Unit 0 Get to know more about your classmates	・ 相手について今まで知らなかったことを聞き出すことができる。 ・ 相手と会話を続けて、自分との共通点を探し出すことができる。	○	○	○	
	Unit 1 Smart home, smart city	・ 希望を伝え、スケジュールを相談しながら決めることができる。 ・ 情報を共有し、自分たちの町に役立つか話し合うことができる。 ・ 展示会についての感想をブログの日記に書くことができる。	○	○	○	
	< 1 学期中間考査 >		○	○	○	
6	Unit 2 History and future of our town	・ 魅力を紹介し、相手に関心を持たせて誘うことができる。 ・ 通りを見ながら町並みの変化について説明することができる。 ・ 移住体験ツアーをすすめるウェブの広告文を書くことができる。	○	○	○	
	Unit 3 Preparing for a natural disaster	・ 興味のある商品を紹介し、その特長を説明することができる。 ・ 店員に要望を伝え、購入する商品を決めることができる。 ・ 防災意識を高めるパンフレットの文章を書くことができる。	○	○	○	
	< 1 学期期末考査 >		○	○	○	
7	Unit 4 Water supporting our lives	・ 相手が知らない情報について説明することができる。 ・ 問題に対処するための道具を紹介することができる。 ・ 購入の寄付を募るためのポスターを書くことができる。	○	○	○	12
8			○	○	○	
9			○	○	○	
10	Unit 5 Save food you can still eat!	・ お互いの状況を踏まえて問題解決の結論を出すことができる。 ・ 情報を照らし合わせて条件に合うものを確認することができる。 ・ フードバンク団体を支援する手紙を書くことができる。	○	○	○	12
	< 2 学期中間考査 >		○	○	○	
	Unit 6 How can we become more health-conscious?	・ 自分の生活習慣を確認し、変えたい習慣を伝えることができる。 ・ 相手からの悩み相談にアドバイスをすることができる。	○	○	○	
11			○	○	○	

英語 科 1 年 論理・表現 I 年間授業計画（シラバス）					
科目名	論理・表現 I	対象	進学	コース	単位数 2 単位
教科書	FACTBOOK English Logic and Expression I 出版社 桐原書店				
副教材	FACTBOOK English Logic and Expression I Workbook 【Essential】				

1 学習の到達目標

日常的・社会的な話題について，多くの支援を活用すれば，

- 1.基本的な語句や文を用いて，情報や考え，気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けたり，論理性に注意して話して伝え合ったりすることができる。
- 2.基本的な語句や文を用いて，情報や考え，気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができる。
- 3.基本的な語句や文を用いて，情報や考え，気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができる。

2 評価の観点・内容・方法，及び成績評価の方法

①評価の観点・内容・方法

評価の 観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の 内容	・外国語の音声や語彙，表現，文法，言語の働きなどについて理解を深めている。 ・外国語の音声や語彙，表現，文法，言語の働きなどの知識を，聞くこと，読むこと，話すこと，書くことによる実際のコミュニケーションにおいて，目的や場面，状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面，状況などに応じて，日常的な話題や社会的な話題について，外国語で情報や考えなどの概要や要点，詳細，話し手や書き手の意図などを的確に理解したり，これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め，聞き手，読み手，話し手，書き手に配慮しながら，主体的，自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。
評価の 方法	定期考査 学力テスト 単元テスト 小テスト レポート 授業観察など	定期考査 学力テスト 単元テスト 小テスト レポート 授業観察など	学習課題 ワークシート レポート ノート 授業観察など

②成績評価の方法

①の評価の方法によって，学年末に評定にまとめます。

評価の内容 知識・技能 35%，思考・判断・表現 35%，主体的に学習に取り組む態度 30%

3 学習計画

※評価の観点：a（知識・技能）、b（思考・判断・表現）、c（主体的に学習に取り組む態度）

月	学 習 単 元	主 な 学 習 内 容 と 到 達 目 標	評価の観点			時間数
			a	b	c	
4	予習復習体験学習	・ 予習復習の体験学習をする。				6
5	Unit 0 Get to know more about your classmates	・ 相手について今まで知らなかったことを聞き出すことができる。 ・ 相手と会話を続けて、自分との共通点を探し出すことができる。	○	○	○	
	Unit 1 Smart home, smart city	・ 希望を伝え、スケジュールを相談しながら決めることができる。 ・ 情報を共有し、自分たちの町に役立つか話し合うことができる。 ・ 展示会についての感想をブログの日記に書くことができる。	○	○	○	
	< 1 学期中間考査 >		○	○	○	
6	Unit 2 History and future of our town	・ 魅力を紹介し、相手に関心を持たせて誘うことができる。 ・ 通りを見ながら町並みの変化について説明することができる。 ・ 移住体験ツアーをすすめるウェブの広告文を書くことができる。	○	○	○	
	Unit 3 Preparing for a natural disaster	・ 興味のある商品を紹介し、その特長を説明することができる。 ・ 店員に要望を伝え、購入する商品を決めることができる。 ・ 防災意識を高めるパンフレットの文章を書くことができる。	○	○	○	
	< 1 学期期末考査 >		○	○	○	12
8	Unit 4 Water supporting our lives	・ 相手が知らない情報について説明することができる。 ・ 問題に対処するための道具を紹介することができる。 ・ 購入の寄付を募るためのポスターを書くことができる。	○	○	○	
9	Unit 5 Save food you can still eat!	・ お互いの状況を踏まえて問題解決の結論を出すことができる。 ・ 情報を照らし合わせて条件に合うものを確認することができる。 ・ フードバンク団体を支援する手紙を書くことができる。	○	○	○	
10	< 2 学期中間考査 >		○	○	○	12
11	Unit 6 How can we become more health-conscious?	・ 自分の生活習慣を確認し、変えたい習慣を伝えることができる。 ・ 相手からの悩み相談にアドバイスをすることができ	○	○	○	
			○	○	○	

英語 科 1 年 論理・表現 I 年間授業計画（シラバス）					
科目名	論理・表現 I	対象	特進	コース	単位数 3 単位
教科書	FACTBOOK English Logic and Expression I 出版社 桐原書店				
副教材	FACTBOOK English Logic and Expression I Workbook 【Mastery】 Active Reader Intermediate Listening Scope Basic				

1 学習の到達目標

日常的・社会的な話題について、多くの支援を活用すれば、
1. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けたり、論理性に注意して話して伝え合ったりすることができる。
2. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができる。
3. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができる。

2 評価の観点・内容・方法、及び成績評価の方法

①評価の観点・内容・方法

評価の 観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の 内容	・ 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深めている。 ・ 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。
評価の 方法	定期考査 学力テスト 単元テスト 小テスト レポート 授業観察など	定期考査 学力テスト 単元テスト 小テスト レポート 授業観察など	学習課題 ワークシート レポート ノート 授業観察など オンライン英会話振返シート

②成績評価の方法

①の評価の方法によって、学年末に評定にまとめます。

評価の内容 知識・技能 35%，思考・判断・表現 35%，主体的に学習に取り組む態度 30%

3 学習計画

※評価の観点：a（知識・技能）、b（思考・判断・表現）、c（主体的に学習に取り組む態度）

月	学 習 単 元	主 な 学 習 内 容 と 到 達 目 標	評価の観点			時間数
			a	b	c	
4	予習復習体験学習 Unit 0 Get to know more about your classmates	・予習復習の体験学習をする。				15
5	Unit 1 Smart home, smart city < 1 学期中間考査 >	・相手について今まで知らなかったことを聞き出すことができる。	○	○	○	
		・相手と会話を続けて、自分との共通点を探し出すことができる。	○	○	○	
		・希望を伝え、スケジュールを相談しながら決めることができる。	○	○	○	
6	Unit 2 History and future of our town	・情報を共有し、自分たちの町に役立つか話し合うことができる。	○	○	○	
		・展示会についての感想をブログの日記に書くことができる。	○	○	○	
		・魅力を紹介し、相手に興味を持たせて誘うことができる。	○	○	○	
7	Unit 3 Preparing for a natural disaster	・通りを見ながら町並みの変化について説明することができる。	○	○	○	19
		・移住体験ツアーをすすめるウェブの広告文を書くことができる。	○	○	○	
		・興味のある商品を紹介し、その特長を説明することができる。	○	○	○	
8	< 1 学期期末考査 >	・店員に要望を伝え、購入する商品を決めることができる。	○	○	○	19
9	Unit 4 Water supporting our lives	・防災意識を高めるパンフレットの文章を書くことができる。	○	○	○	
		・相手が知らない情報について説明することができる。	○	○	○	
		・問題に対処するための道具を紹介することができる。	○	○	○	
10	Unit 5 Save food you can still eat! < 2 学期中間考査 >	・購入の寄付を募るためのポスターを書くことができる。	○	○	○	
		・お互いの状況を踏まえて問題解決の結論を出すことができる。	○	○	○	
		・情報を照らし合わせて条件に合うものを確認することができる。	○	○	○	
11	Unit 6 How can we become more health-conscious?	・フードバンク団体を支援する手紙を書くことができる。	○	○	○	19
		・自分の生活習慣を確認し、変えたい習慣を伝えること	○	○	○	

		ができる。 ・相手からの悩み相談にアドバイスをすることができる。 ・生活習慣についての意見をウェブの掲示板に書くことができる。	○	○	○	
12	Unit 7 How many clothes do you buy?	・贈るための商品を相談しながら決めることができる。 ・プレゼントへの感謝の気持ちを伝えることができる。 ・企業の講演に感想やお礼のメールを書くことができる。	○	○	○	
1	< 2 学期期末考査 >		○	○	○	
	Unit 8 How do you decide which products to buy?	・おすすめの商品を比較しながら紹介することができる。 ・図表を見ながらパンフレットの内容を説明することができる。 ・フェアトレード商品のよさをブログで発信することができる。	○	○	○	
2	Unit 9 A variety of ways to improve your English	・お互いの考えるよい方法を具体的に説明し合うことができる。 ・お互いの希望を伝え合い参加プログラムを決めることができる。 ・事前の問い合わせで疑問点を尋ねるメールを書くことができる。	○	○	○	
3	Unit 10 How can we become foreigner-friendly?	・相手の要望に合った提案をすることができる。 ・旅のエピソードを聞いて問題の解決策を話し合うことができる。 ・外国人観光客に役立つパンフレットの文章を書くことができる。	○	○	○	
	< 学年末考査 >					19

※学習状況により，進度・内容を変更することがあります。

英語 科 2 年 英語コミュニケーションⅡ 年間授業計画（シラバス）					
科目名	英語コミュニケーションⅡ	対象	スポーツ	コース	単位数 3 単位
教科書	Power On English CommunicationⅡ 出版社 東京書籍				
副教材	Power On English CommunicationⅡ WORKBOOK transfer 英語総合問題演習 B ターゲット 1400				

1 学習の到達目標

日常的・社会的な話題について、一定の支援を活用すれば、

1. 必要な情報を聞き取り、話の展開や話し手の意図を把握したり、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えたりすることができる。
2. 必要な情報を読み取り、文章の展開や書き手の意図を把握したり、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えたりすることができる。
3. 多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを複数の文で詳しく話して伝え合うやり取りを続けたり、論理性に注意して複数の文で詳しく話して伝え合ったりすることができる。
4. 多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して複数の文で詳しく話して伝えることができる。
5. 多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して、複数の段落から成る文章で詳しく書いて伝えることができる。

2 評価の観点・内容・方法、及び成績評価の方法

①評価の観点・内容・方法

評価の 観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の 内容	・ 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深めている。 ・ 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。
評価の 方法	定期考査 学力テスト 単元テスト 小テスト レポート 授業観察など	定期考査 学力テスト 単元テスト 小テスト レポート 授業観察など	学習課題 ワークシート レポート ノート 授業観察など

②成績評価の方法

①の評価の方法によって、学年末に評定にまとめます。

評価の内容 知識・技能 35%，思考・判断・表現 35%，主体的に学習に取り組む態度 30%

3 学習計画

※評価の観点：a（知識・技能），b（思考・判断・表現），c（主体的に学習に取り組む態度）

月	学 習 単 元	主 な 学 習 内 容 と 到 達 目 標	評価の観点			時間数
			a	b	c	
4	予習復習体験学習 Unit 1 Play me, I'm Yours	・予習復習の体験学習をする。 ・助動詞＋動詞の原形，受け身，S＋V [be 動詞以外] ＋C を用いた文の形・意味・用法を理解できる。 ・日本や海外でのストリートピアノと人々・社会とのかかわりについて，助動詞＋動詞の原形，受け身，S＋V [be 動詞以外] ＋C などの理解を基に，必要な情報，話し手・書き手の意図，概要や要点，詳細を目的に応じて捉えたり，ストリートピアノがどのような経緯で設置されたかについて，多様な語句や文を用いて，情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝えることができる。 ・日本や海外でのストリートピアノと人々・社会とのかかわりについて，必要な情報，話し手・書き手の意図，概要や要点，詳細を捉えたり，聞いたり読んだりしたことを活用しながら，ストリートピアノがどのような経緯で設置されたかについて，情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝えることができる。	○			14
5	Unit 2 Ethical Fashion < 1 学期中間考査 >	・S＋V＋O＋C [形容詞]，S＋V [使役] ＋O＋C [原形不定詞]，S＋V [知覚] ＋O＋C [現在分詞，原形不定詞] を用いた文の形・意味・用法を理解できる。 ・ファストファッションの背後にある問題やエシカルファッションについて，S＋V＋O＋C [形容詞]，S＋V [使役] ＋O＋C [原形不定詞]，S＋V [知覚] ＋O＋C [現在分詞，原形不定詞] などの理解を基に，必要な情報，話し手・書き手の意図，概要や要点，詳細を目的に応じて捉えたり，自分の好きなファッションブランドのエシカルな活動について，多様な語句や文を用いて，情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝えることができる。 ・ファストファッションの背後にある問題やエシカルファッションについて，必要な情報，話し手・書き手の意図，概要や要点，詳細を捉えたり，聞いたり読んだりしたことを活用しながら，自分の好きなファッションブランドのエシカルな活動について，情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝えることができる。	○	○	○	
6	Unit 3 One for All, All for One	・現在完了形，過去完了形，仮定法過去の if 節を用いた文の形・意味・用法を理解できる。 ・ラグビー選手のマイケル・リーチ選手について，現在完了形，過去完了形，仮定法過去の if 節などの理解を基に，必要な情報，話し手・書き手の意図，概要や要点，詳細を目的に応じて捉えたり，自分の好きなスポーツ選手や有名人について，多様な語句や文を用いて，情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝えることができる。 ・ラグビー選手のマイケル・リーチ選手について，必要な情報，話し手・書き手の意図，概要や要点，詳細を捉えたり，聞いたり読んだりしたことを活用しながら，自分の好きなスポーツ選手や有名人について，情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝えることができる。	○	○	○	
7	Unit 4 Vending Machines	・関係代名詞（主格），関係代名詞の非制限用法，関係代名詞（目的格）を用いた文の形・意味・用法を理解できる。 ・日本と海外の自動販売機について，関係代名詞（主格），関係代名詞の非制限用法，関係代名詞（目的格）などの理解を基に，必要な	○			

	< 1 学期期末考査 >	情報、話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えたり、海外のユニークな自動販売機について、多様な語句や文を用いて、情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝えることができる。 ・日本と海外の自動販売機について、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、海外のユニークな自動販売機について、情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝えることができる。 ・助動詞＋受け身，S+V+C [分詞]，S+V+O [if 節]，It seems [appears]＋that 節を用いた文の形・意味・用法を理解できる。 ・ブレイルノイエの開発の経緯や利点と可能性について、助動詞＋受け身，S+V+C [分詞]，S+V+O [if 節]，It seems [appears]＋that 節などの理解を基に、必要な情報、話・文章の展開や話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えたり、ブレイルノイエの利点と活用方法について、多様な語句や文を用いて、情報や自分の考えなどを論理性に注意して詳しく話したり書いたりして伝えることができる。 ・ブレイルノイエの開発の経緯や利点と可能性について、必要な情報、話・文章の展開や話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、ブレイルノイエの利点と活用方法について、情報や自分の考えなどを論理性に注意して詳しく話したり書いたりして伝えることができる。				19
9	Unit 5 Design for Connecting Society: Braille Neue		○	○		
10	Unit 6 New Banknotes < 2 学期中間考査 >	・It+is [was]＋said+that 節，形式目的語 it と that 節，形式目的語 it と to 不定詞，助動詞＋have＋過去分詞を用いた文の形・意味・用法を理解できる。 ・新紙幣とキャッシュレス社会について，It+is [was]＋said+that 節，形式目的語 it と that 節，形式目的語 it と to 不定詞，助動詞＋have＋過去分詞などの理解を基に，必要な情報，話・文章の展開や話し手・書き手の意図，概要や要点，詳細を目的に応じて捉えたり，キャッシュレス社会の長所・短所について，多様な語句や文を用いて，情報や自分の考えなどを論理性に注意して詳しく話したり書いたりして伝えることができる。 ・新紙幣とキャッシュレス社会について，必要な情報，話・文章の展開や話し手・書き手の意図，概要や要点，詳細を捉えたり，聞いたり読んだりしたことを活用しながら，キャッシュレス社会の長所・短所について，情報や自分の考えなどを論理性に注意して詳しく話したり書いたりして伝えることができる。	○	○		22
11	Unit 7 Some Secrets about Colors	・関係代名詞（所有格），同格を表す接続詞 that，前置詞＋関係代名詞，関係副詞 where の非制限用法を用いた文の形・意味・用法を理解できる。 ・色の心理的効果について，関係代名詞（所有格），同格を表す接続詞 that，前置詞＋関係代名詞，関係副詞 where の非制限用法などの理解を基に，必要な情報，話・文章の展開や話し手・書き手の意図，概要や要点，詳細を目的に応じて捉えたり，色の心理的効果を考慮した部屋の壁の色について，多様な語句や文を用いて，情報や自分の考えなどを論理性に注意して詳しく話したり書いたりして伝えることができる。 ・色の心理的効果について，必要な情報，話・文章の展開や話し手・書き手の意図，概要や要点，詳細を捉えたり，聞いたり読んだりしたことを活用しながら，色の心理的効果を考慮した部屋の壁の色について，情報や自分の考えなどを論理性に注意して詳しく話したり	○	○	○	

12	Unit 8 Powdered Natto Solves a Global Water Problem ＜2 学期期末考査＞	書いたりして伝えることができる。 ・強調構文，強調の助動詞 do，直前の文を先行詞とする関係代名詞 which，to+have+過去分詞を用いた文の形・意味・用法を理解できる。 ・納豆パウダーの開発の経緯と汚水を浄化するしくみや，発展途上国への影響について，強調構文，強調の助動詞 do，直前の文を先行詞とする関係代名詞 which，to+have+過去分詞などの理解を基に，必要な情報，話・文章の展開や話し手・書き手の意図，概要や要点，詳細を目的に応じて捉えたり，納豆パウダーという製品の利点などについて，多様な語句や文を用いて，情報や自分の考えなどを論理性に注意して詳しく話したり書いたりして伝えることができる。 ・納豆パウダーの開発の経緯と汚水を浄化するしくみや，発展途上国への影響について，必要な情報，話・文章の展開や話し手・書き手の意図，概要や要点，詳細を捉えたり，聞いたり読んだりしたことを活用しながら，納豆パウダーという製品の利点などについて，情報や自分の考えなどを論理性に注意して詳しく話したり書いたりして伝えることができる。	○			
1	Unit 9 Flying after Her Dreams	・譲歩を表す副詞節，no matter how [where, when]，仮定法過去完了，分詞構文（過去分詞）を用いた文の形・意味・用法を理解できる。 ・黒人女性初のパイロットであるベシー・コールマンの経歴や人物像や夢について，譲歩を表す副詞節，no matter how [where, when]，仮定法過去完了，分詞構文（過去分詞）などの理解を基に，必要な情報，話・文章の展開や話し手・書き手の意図，概要や要点，詳細を目的に応じて捉えたり，1900 年頃のアメ리카における女性の専門職の就労について，多様な語句や文を用いて，情報や自分の考えなどを論理性に注意して詳しく話したり書いたりして伝えることができる。 ・黒人女性初のパイロットであるベシー・コールマンの経歴や人物像や夢について，必要な情報，話・文章の展開や話し手・書き手の意図，概要や要点，詳細を捉えたり，聞いたり読んだりしたことを活用しながら，1900 年頃のアメ리카における女性の専門職の就労について，情報や自分の考えなどを論理性に注意して詳しく話したり書いたりして伝えることができる。	○			
2	Unit 10 To Work or Not to Work?: Humans and Robots	・過去完了進行形，be+to 不定詞，未来完了形，insist など+that +S+V [動詞の原形] を用いた文の形・意味・用法を理解できる。 ・各種のロボットやロボットの労働内容の変化について，過去完了進行形，be+to 不定詞，未来完了形，insist など+that+S+V [動詞の原形] などの理解を基に，必要な情報，話・文章の展開や話し手・書き手の意図，概要や要点，詳細を目的に応じて捉えたり，自分が考案した生活に役立つロボットの形状や機能などについて，多様な語句や文を用いて，情報や自分の考えなどを論理性に注意して詳しく話したり書いたりして伝えることができる。 ・各種のロボットやロボットの労働内容の変化について，必要な情報，話・文章の展開や話し手・書き手の意図，概要や要点，詳細を捉えたり，聞いたり読んだりしたことを活用しながら，自分が考案した生活に役立つロボットの形状や機能などについて，情報や自分の考えなどを論理性に注意して詳しく話したり書いたりして伝えることができる。	○	○		
3	＜学年末考査＞			○	○	

22

18

22

18

※学習状況により，進度・内容を変更することがあります。

英語 科 2 年 英語コミュニケーションⅡ 年間授業計画（シラバス）						
科目名	英語コミュニケーションⅡ	対象	進学文系	コース	単位数	4 単位
教科書	Power On English Communication II			出版社	東京書籍	
副教材	Power On English Communication II WORKBOOK 英単語ターゲット 1400 transfer 英語総合問題演習 B Jet Reading 英語速読テスト Level 2 ALL EARS STANDARD					

1 学習の到達目標

日常的・社会的な話題について、一定の支援を活用すれば、

1. 必要な情報を聞き取り、話の展開や話し手の意図を把握したり、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えたりすることができる。
2. 必要な情報を読み取り、文章の展開や書き手の意図を把握したり、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えたりすることができる。
3. 多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを複数の文で詳しく話して伝え合うやり取りを続けたり、論理性に注意して複数の文で詳しく話して伝え合ったりすることができる。
4. 多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して複数の文で詳しく話して伝えることができる。
5. 多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して、複数の段落から成る文章で詳しく書いて伝えることができる。

2 評価の観点・内容・方法、及び成績評価の方法

①評価の観点・内容・方法

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の内容	・ 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深めている。 ・ 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。
評価の方法	定期考査 学力テスト 単元テスト 小テスト レポート 授業観察など	定期考査 学力テスト 単元テスト 小テスト レポート 授業観察など	学習課題 ワークシート レポート ノート 授業観察など

②成績評価の方法

①の評価の方法によって、学年末に評定にまとめます。

評価の内容 知識・技能 35%，思考・判断・表現 35%，主体的に学習に取り組む態度 30%

3 学習計画

※評価の観点：a（知識・技能），b（思考・判断・表現），c（主体的に学習に取り組む態度）

月	学 習 単 元	主 な 学 習 内 容 と 到 達 目 標	評価の観点			時間数
			a	b	c	
4	予習復習体験学習 Unit 1 Play me, I'm Yours	・予習復習の体験学習をする。 ・助動詞＋動詞の原形，受け身，S＋V [be 動詞以外] ＋C を用いた文の形・意味・用法を理解できる。 ・日本や海外でのストリートピアノと人々・社会とのかかわりについて，助動詞＋動詞の原形，受け身，S＋V [be 動詞以外] ＋C などの理解を基に，必要な情報，話し手・書き手の意図，概要や要点，詳細を目的に応じて捉えたり，ストリートピアノがどのような経緯で設置されたかについて，多様な語句や文を用いて，情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝えることができる。 ・日本や海外でのストリートピアノと人々・社会とのかかわりについて，必要な情報，話し手・書き手の意図，概要や要点，詳細を捉えたり，聞いたり読んだりしたことを活用しながら，ストリートピアノがどのような経緯で設置されたかについて，情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝えることができる。	○			20
5	Unit 2 Ethical Fashion < 1 学期中間考査 >	・S＋V＋O＋C [形容詞]，S＋V [使役] ＋O＋C [原形不定詞]，S＋V [知覚] ＋O＋C [現在分詞，原形不定詞] を用いた文の形・意味・用法を理解できる。 ・ファストファッションの背後にある問題やエシカルファッションについて，S＋V＋O＋C [形容詞]，S＋V [使役] ＋O＋C [原形不定詞]，S＋V [知覚] ＋O＋C [現在分詞，原形不定詞] などの理解を基に，必要な情報，話し手・書き手の意図，概要や要点，詳細を目的に応じて捉えたり，自分の好きなファッションブランドのエシカルな活動について，多様な語句や文を用いて，情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝えることができる。 ・ファストファッションの背後にある問題やエシカルファッションについて，必要な情報，話し手・書き手の意図，概要や要点，詳細を捉えたり，聞いたり読んだりしたことを活用しながら，自分の好きなファッションブランドのエシカルな活動について，情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝えることができる。	○	○	○	
6	Unit 3 One for All, All for One	・現在完了形，過去完了形，仮定法過去の if 節を用いた文の形・意味・用法を理解できる。 ・ラグビー選手のマイケル・リーチ選手について，現在完了形，過去完了形，仮定法過去の if 節などの理解を基に，必要な情報，話し手・書き手の意図，概要や要点，詳細を目的に応じて捉えたり，自分の好きなスポーツ選手や有名人について，多様な語句や文を用いて，情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝えることができる。 ・ラグビー選手のマイケル・リーチ選手について，必要な情報，話し手・書き手の意図，概要や要点，詳細を捉えたり，聞いたり読んだりしたことを活用しながら，自分の好きなスポーツ選手や有名人について，情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝えることができる。	○			
7	Unit 4 Vending Machines	・関係代名詞（主格），関係代名詞の非制限用法，関係代名詞（目的格）を用いた文の形・意味・用法を理解できる。 ・日本と海外の自動販売機について，関係代名詞（主格），関係代名詞の非制限用法，関係代名詞（目的格）などの理解を基に，必要な	○	○	○	

	< 1 学期期末考査 >	情報、話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えたり、海外のユニークな自動販売機について、多様な語句や文を用いて、情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝えることができる。 ・日本と海外の自動販売機について、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、海外のユニークな自動販売機について、情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝えることができる。 ・助動詞＋受け身，S+V+C [分詞]，S+V+O [if 節]，It seems [appears] +that 節を用いた文の形・意味・用法を理解できる。 ・ブレイルノイエの開発の経緯や利点と可能性について、助動詞＋受け身，S+V+C [分詞]，S+V+O [if 節]，It seems [appears] +that 節などの理解を基に、必要な情報、話・文章の展開や話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えたり、ブレイルノイエの利点と活用方法について、多様な語句や文を用いて、情報や自分の考えなどを論理性に注意して詳しく話したり書いたりして伝えることができる。 ・ブレイルノイエの開発の経緯や利点と可能性について、必要な情報、話・文章の展開や話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、ブレイルノイエの利点と活用方法について、情報や自分の考えなどを論理性に注意して詳しく話したり書いたりして伝えることができる。				25
9	Unit 5 Design for Connecting Society: Braille Neue		○	○		
10	Unit 6 New Banknotes < 2 学期中間考査 >	・It+is [was] +said+that 節，形式目的語 it と that 節，形式目的語 it と to 不定詞，助動詞＋have＋過去分詞を用いた文の形・意味・用法を理解できる。 ・新紙幣とキャッシュレス社会について，It+is [was] +said+that 節，形式目的語 it と that 節，形式目的語 it と to 不定詞，助動詞＋have＋過去分詞などの理解を基に，必要な情報，話・文章の展開や話し手・書き手の意図，概要や要点，詳細を目的に応じて捉えたり，キャッシュレス社会の長所・短所について，多様な語句や文を用いて，情報や自分の考えなどを論理性に注意して詳しく話したり書いたりして伝えることができる。 ・新紙幣とキャッシュレス社会について，必要な情報，話・文章の展開や話し手・書き手の意図，概要や要点，詳細を捉えたり，聞いたり読んだりしたことを活用しながら，キャッシュレス社会の長所・短所について，情報や自分の考えなどを論理性に注意して詳しく話したり書いたりして伝えることができる。	○	○		25
11	Unit 7 Some Secrets about Colors	・関係代名詞（所有格），同格を表す接続詞 that，前置詞＋関係代名詞，関係副詞 where の非制限用法を用いた文の形・意味・用法を理解できる。 ・色の心理的効果について，関係代名詞（所有格），同格を表す接続詞 that，前置詞＋関係代名詞，関係副詞 where の非制限用法などの理解を基に，必要な情報，話・文章の展開や話し手・書き手の意図，概要や要点，詳細を目的に応じて捉えたり，色の心理的効果を考慮した部屋の壁の色について，多様な語句や文を用いて，情報や自分の考えなどを論理性に注意して詳しく話したり書いたりして伝えることができる。 ・色の心理的効果について，必要な情報，話・文章の展開や話し手・書き手の意図，概要や要点，詳細を捉えたり，聞いたり読んだりしたことを活用しながら，色の心理的効果を考慮した部屋の壁の色について，情報や自分の考えなどを論理性に注意して詳しく話したり	○	○	○	

12	Unit 8 Powdered Natto Solves a Global Water Problem ＜2 学期期末考査＞	書いたりして伝えることができる。 ・強調構文，強調の助動詞 do，直前の文を先行詞とする関係代名詞 which，to+have+過去分詞を用いた文の形・意味・用法を理解できる。 ・納豆パウダーの開発の経緯と汚水を浄化するしくみや，発展途上国への影響について，強調構文，強調の助動詞 do，直前の文を先行詞とする関係代名詞 which，to+have+過去分詞などの理解を基に，必要な情報，話・文章の展開や話し手・書き手の意図，概要や要点，詳細を目的に応じて捉えたり，納豆パウダーという製品の利点などについて，多様な語句や文を用いて，情報や自分の考えなどを論理性に注意して詳しく話したり書いたりして伝えることができる。 ・納豆パウダーの開発の経緯と汚水を浄化するしくみや，発展途上国への影響について，必要な情報，話・文章の展開や話し手・書き手の意図，概要や要点，詳細を捉えたり，聞いたり読んだりしたことを活用しながら，納豆パウダーという製品の利点などについて，情報や自分の考えなどを論理性に注意して詳しく話したり書いたりして伝えることができる。	○				
1	Unit 9 Flying after Her Dreams	・譲歩を表す副詞節，no matter how [where, when]，仮定法過去完了，分詞構文（過去分詞）を用いた文の形・意味・用法を理解できる。 ・黒人女性初のパイロットであるベシー・コールマンの経歴や人物像や夢について，譲歩を表す副詞節，no matter how [where, when]，仮定法過去完了，分詞構文（過去分詞）などの理解を基に，必要な情報，話・文章の展開や話し手・書き手の意図，概要や要点，詳細を目的に応じて捉えたり，1900 年頃のアメ리카における女性の専門職の就労について，多様な語句や文を用いて，情報や自分の考えなどを論理性に注意して詳しく話したり書いたりして伝えることができる。 ・黒人女性初のパイロットであるベシー・コールマンの経歴や人物像や夢について，必要な情報，話・文章の展開や話し手・書き手の意図，概要や要点，詳細を捉えたり，聞いたり読んだりしたことを活用しながら，1900 年頃のアメ리카における女性の専門職の就労について，情報や自分の考えなどを論理性に注意して詳しく話したり書いたりして伝えることができる。	○				
2	Unit 10 To Work or Not to Work?: Humans and Robots	・過去完了進行形，be+to 不定詞，未来完了形，insist など+that +S+V [動詞の原形] を用いた文の形・意味・用法を理解できる。 ・各種のロボットやロボットの労働内容の変化について，過去完了進行形，be+to 不定詞，未来完了形，insist など+that+S+V [動詞の原形] などの理解を基に，必要な情報，話・文章の展開や話し手・書き手の意図，概要や要点，詳細を目的に応じて捉えたり，自分が考案した生活に役立つロボットの形状や機能などについて，多様な語句や文を用いて，情報や自分の考えなどを論理性に注意して詳しく話したり書いたりして伝えることができる。 ・各種のロボットやロボットの労働内容の変化について，必要な情報，話・文章の展開や話し手・書き手の意図，概要や要点，詳細を捉えたり，聞いたり読んだりしたことを活用しながら，自分が考案した生活に役立つロボットの形状や機能などについて，情報や自分の考えなどを論理性に注意して詳しく話したり書いたりして伝えることができる。	○				
3	＜学年末考査＞						

30

25

30

25

※学習状況により，進度・内容を変更することがあります。

英語 科 2 年 英語コミュニケーションⅡ 年間授業計画（シラバス）								
科目名	英語コミュニケーションⅡ	対象	進学理系		コース	単位数	3	単位
教科書	Power On English CommunicationⅡ		出版社		東京書籍			
副教材	Power On English CommunicationⅡ WORKBOOK 英単語ターゲット 1400 transfer 英語総合問題演習 B Jet Reading 英語速読テスト Level 2 ALL EARS STANDARD							

1 学習の到達目標

日常的・社会的な話題について、一定の支援を活用すれば、

1. 必要な情報を聞き取り、話の展開や話し手の意図を把握したり、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えたりすることができる。
2. 必要な情報を読み取り、文章の展開や書き手の意図を把握したり、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えたりすることができる。
3. 多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを複数の文で詳しく話して伝え合うやり取りを続けたり、論理性に注意して複数の文で詳しく話して伝え合ったりすることができる。
4. 多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して複数の文で詳しく話して伝えることができる。
5. 多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して、複数の段落から成る文章で詳しく書いて伝えることができる。

2 評価の観点・内容・方法、及び成績評価の方法

①評価の観点・内容・方法

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の内容	・ 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深めている。 ・ 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。
評価の方法	定期考査 学力テスト 単元テスト 小テスト レポート 授業観察など	定期考査 学力テスト 単元テスト 小テスト レポート 授業観察など	学習課題 ワークシート レポート ノート 授業観察など

②成績評価の方法

①の評価の方法によって、学年末に評定にまとめます。

評価の内容 知識・技能 35%，思考・判断・表現 35%，主体的に学習に取り組む態度 30%

3 学習計画

※評価の観点：a（知識・技能），b（思考・判断・表現），c（主体的に学習に取り組む態度）

月	学 習 単 元	主 な 学 習 内 容 と 到 達 目 標	評価の観点			時間数
			a	b	c	
4	予習復習体験学習 Unit 1 Play me, I'm Yours	- 予習復習の体験学習をする。 - 助動詞＋動詞の原形，受け身，S＋V [be 動詞以外] ＋Cを用いた文の形・意味・用法を理解できる。 - 日本や海外でのストリートピアノと人々・社会とのかかわりについて，助動詞＋動詞の原形，受け身，S＋V [be 動詞以外] ＋Cなどの理解を基に，必要な情報，話し手・書き手の意図，概要や要点，詳細を目的に応じて捉えたり，ストリートピアノがどのような経緯で設置されたかについて，多様な語句や文を用いて，情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝えることができる。 - 日本や海外でのストリートピアノと人々・社会とのかかわりについて，必要な情報，話し手・書き手の意図，概要や要点，詳細を捉えたり，聞いたり読んだりしたことを活用しながら，ストリートピアノがどのような経緯で設置されたかについて，情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝えることができる。	○ ○			14
5	Unit 2 Ethical Fashion < 1 学期中間考査 >	- S＋V＋O＋C [形容詞]，S＋V [使役] ＋O＋C [原形不定詞]，S＋V [知覚] ＋O＋C [現在分詞，原形不定詞] を用いた文の形・意味・用法を理解できる。 - ファストファッションの背後にある問題やエシカルファッションについて，S＋V＋O＋C [形容詞]，S＋V [使役] ＋O＋C [原形不定詞]，S＋V [知覚] ＋O＋C [現在分詞，原形不定詞] などの理解を基に，必要な情報，話し手・書き手の意図，概要や要点，詳細を目的に応じて捉えたり，自分の好きなファッションブランドのエシカルな活動について，多様な語句や文を用いて，情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝えることができる。 - ファストファッションの背後にある問題やエシカルファッションについて，必要な情報，話し手・書き手の意図，概要や要点，詳細を捉えたり，聞いたり読んだりしたことを活用しながら，自分の好きなファッションブランドのエシカルな活動について，情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝えることができる。	○ ○			
6	Unit 3 One for All, All for One	- 現在完了形，過去完了形，仮定法過去の if 節を用いた文の形・意味・用法を理解できる。 - ラグビー選手のマイケル・リーチ選手について，現在完了形，過去完了形，仮定法過去の if 節などの理解を基に，必要な情報，話し手・書き手の意図，概要や要点，詳細を目的に応じて捉えたり，自分の好きなスポーツ選手や有名人について，多様な語句や文を用いて，情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝えることができる。 - ラグビー選手のマイケル・リーチ選手について，必要な情報，話し手・書き手の意図，概要や要点，詳細を捉えたり，聞いたり読んだりしたことを活用しながら，自分の好きなスポーツ選手や有名人について，情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝えることができる。	○ ○			
7	Unit 4 Vending Machines < 1 学期期末考査 >	- 関係代名詞（主格），関係代名詞の非制限用法，関係代名詞（目的格）を用いた文の形・意味・用法を理解できる。 - 日本と海外の自動販売機について，関係代名詞（主格），関係代名詞の非制限用法，関係代名詞（目的格）などの理解を基に，必要な情報，話し手・書き手の意図，概要や要点，詳細を目的に応じて捉	○ ○			19

9	Unit 5 Design for Connecting Society: Braille Neue	えたり，海外のユニークな自動販売機について，多様な語句や文を用いて，情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝えることができる。 - 日本と海外の自動販売機について，必要な情報，話し手・書き手の意図，概要や要点，詳細を捉えたり，聞いたり読んだりしたことを活用しながら，海外のユニークな自動販売機について，情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝えることができる。 - 助動詞＋受け身，S+V+C [分詞]，S+V+O [if 節]，It seems [appears] +that 節を用いた文の形・意味・用法を理解できる。 - ブレイルノイエの開発の経緯や利点と可能性について，助動詞＋受け身，S+V+C [分詞]，S+V+O [if 節]，It seems [appears] +that 節などの理解を基に，必要な情報，話・文章の展開や話し手・書き手の意図，概要や要点，詳細を目的に応じて捉えたり，ブレイルノイエの利点と活用方法について，多様な語句や文を用いて，情報や自分の考えなどを論理性に注意して詳しく話したり書いたりして伝えることができる。 - ブレイルノイエの開発の経緯や利点と可能性について，必要な情報，話・文章の展開や話し手・書き手の意図，概要や要点，詳細を捉えたり，聞いたり読んだりしたことを活用しながら，ブレイルノイエの利点と活用方法について，情報や自分の考えなどを論理性に注意して詳しく話したり書いたりして伝えることができる。	○	○	○	
10	Unit 6 New Banknotes < 2 学期中間考査 >	- It+is [was] +said+that 節，形式目的語 it と that 節，形式目的語 it と to 不定詞，助動詞＋have＋過去分詞を用いた文の形・意味・用法を理解できる。 - 新紙幣とキャッシュレス社会について，It+is [was] +said+that 節，形式目的語 it と that 節，形式目的語 it と to 不定詞，助動詞＋have＋過去分詞などの理解を基に，必要な情報，話・文章の展開や話し手・書き手の意図，概要や要点，詳細を目的に応じて捉えたり，キャッシュレス社会の長所・短所について，多様な語句や文を用いて，情報や自分の考えなどを論理性に注意して詳しく話したり書いたりして伝えることができる。 - 新紙幣とキャッシュレス社会について，必要な情報，話・文章の展開や話し手・書き手の意図，概要や要点，詳細を捉えたり，聞いたり読んだりしたことを活用しながら，キャッシュレス社会の長所・短所について，情報や自分の考えなどを論理性に注意して詳しく話したり書いたりして伝えることができる。	○	○	○	22
11	Unit 7 Some Secrets about Colors	- 関係代名詞（所有格），同格を表す接続詞 that，前置詞＋関係代名詞，関係副詞 where の非制限用法を用いた文の形・意味・用法を理解できる。 - 色の心理的効果について，関係代名詞（所有格），同格を表す接続詞 that，前置詞＋関係代名詞，関係副詞 where の非制限用法などの理解を基に，必要な情報，話・文章の展開や話し手・書き手の意図，概要や要点，詳細を目的に応じて捉えたり，色の心理的効果を考慮した部屋の壁の色について，多様な語句や文を用いて，情報や自分の考えなどを論理性に注意して詳しく話したり書いたりして伝えることができる。 - 色の心理的効果について，必要な情報，話・文章の展開や話し手・書き手の意図，概要や要点，詳細を捉えたり，聞いたり読んだりしたことを活用しながら，色の心理的効果を考慮した部屋の壁の色について，情報や自分の考えなどを論理性に注意して詳しく話したり書いたりして伝えることができる。	○	○	○	

12	Unit 8 Powdered Natto Solves a Global Water Problem < 2 学期期末考査 >	・強調構文，強調の助動詞 do，直前の文を先行詞とする関係代名詞 which，to+have+過去分詞を用いた文の形・意味・用法を理解できる。 ・納豆パウダーの開発の経緯と汚水を浄化するしくみや，発展途上国への影響について，強調構文，強調の助動詞 do，直前の文を先行詞とする関係代名詞 which，to+have+過去分詞などの理解を基に，必要な情報，話・文章の展開や話し手・書き手の意図，概要や要点，詳細を目的に応じて捉えたり，納豆パウダーという製品の利点などについて，多様な語句や文を用いて，情報や自分の考えなどを論理性に注意して詳しく話したり書いたりして伝えることができる。 ・納豆パウダーの開発の経緯と汚水を浄化するしくみや，発展途上国への影響について，必要な情報，話・文章の展開や話し手・書き手の意図，概要や要点，詳細を捉えたり，聞いたり読んだりしたことを活用しながら，納豆パウダーという製品の利点などについて，情報や自分の考えなどを論理性に注意して詳しく話したり書いたりして伝えることができる。	○			
1	Unit 9 Flying after Her Dreams	・譲歩を表す副詞節，no matter how [where, when]，仮定法過去完了，分詞構文（過去分詞）を用いた文の形・意味・用法を理解できる。 ・黒人女性初のパイロットであるベシー・コールマンの経歴や人物像や夢について，譲歩を表す副詞節，no matter how [where, when]，仮定法過去完了，分詞構文（過去分詞）などの理解を基に，必要な情報，話・文章の展開や話し手・書き手の意図，概要や要点，詳細を目的に応じて捉えたり，1900 年頃のアメ리카における女性の専門職の就労について，多様な語句や文を用いて，情報や自分の考えなどを論理性に注意して詳しく話したり書いたりして伝えることができる。 ・黒人女性初のパイロットであるベシー・コールマンの経歴や人物像や夢について，必要な情報，話・文章の展開や話し手・書き手の意図，概要や要点，詳細を捉えたり，聞いたり読んだりしたことを活用しながら，1900 年頃のアメ리카における女性の専門職の就労について，情報や自分の考えなどを論理性に注意して詳しく話したり書いたりして伝えることができる。	○			
2	Unit 10 To Work or Not to Work?: Humans and Robots	・過去完了進行形，be+to 不定詞，未来完了形，insist など+that +S+V [動詞の原形] を用いた文の形・意味・用法を理解できる。 ・各種のロボットやロボットの労働内容の変化について，過去完了進行形，be+to 不定詞，未来完了形，insist など+that+S+V [動詞の原形] などの理解を基に，必要な情報，話・文章の展開や話し手・書き手の意図，概要や要点，詳細を目的に応じて捉えたり，自分が考案した生活に役立つロボットの形状や機能などについて，多様な語句や文を用いて，情報や自分の考えなどを論理性に注意して詳しく話したり書いたりして伝えることができる。 ・各種のロボットやロボットの労働内容の変化について，必要な情報，話・文章の展開や話し手・書き手の意図，概要や要点，詳細を捉えたり，聞いたり読んだりしたことを活用しながら，自分が考案した生活に役立つロボットの形状や機能などについて，情報や自分の考えなどを論理性に注意して詳しく話したり書いたりして伝えることができる。	○			
3	< 学年末考査 >					

22

18

※学習状況により，進度・内容を変更することがあります。

英語 科 2 年 英語コミュニケーションⅡ 年間授業計画（シラバス）						
科目名	英語コミュニケーションⅡ	対象	特進	コース	単位数	4 単位
教科書	ENRICH LEARNING English Communication II 出版社 東京書籍					
副教材	ENRICH LEARNING English Communication II 本文学習ノート ENRICH LEARNING English Communication II WORKBOOK システム英単語[5訂版] transfer 英語総合問題演習 C transfer 英語総合問題演習 D リーディング・ホープ ver. 2 リスニング・エース 10 UPGRADED 3訂版					

1 学習の到達目標

日常的・社会的な話題について、一定の支援を活用すれば、
1. 必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。
2. 必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。
3. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けたり、論理性に注意して話して伝え合ったりすることができる。
4. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができる。
5. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができる。

2 評価の観点・内容・方法、及び成績評価の方法

①評価の観点・内容・方法

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の内容	- 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深めている。 - 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。
評価の方法	定期考査 学力テスト 単元テスト 小テスト レポート 授業観察など	定期考査 学力テスト 単元テスト 小テスト レポート 授業観察など	学習課題 ワークシート レポート ノート 授業観察など オンライン英会話振返シート

②成績評価の方法

①の評価の方法によって、学年末に評定にまとめます。

評価の内容 知識・技能 35%，思考・判断・表現 35%，主体的に学習に取り組む態度 30%

3 学習計画

※評価の観点：a（知識・技能）、b（思考・判断・表現）、c（主体的に学習に取り組む態度）

月	学 習 単 元	主 な 学 習 内 容 と 到 達 目 標	評価の観点			時間数
			a	b	c	
4	予習復習体験学習 Unit 1 What can we do to prevent endemic species from becoming extinct?	- 予習復習の体験学習をする。 - 助動詞＋完了形，不定詞の意味上の主語を用いた文の形・意味・用法を理解できる。 - 絶滅危惧種の生息地や見た目の特徴などについて説明するための適切な表現や方法を理解できる。 - 特定の絶滅危惧種について，参照した情報を基に，生息地や見た目の特徴などを話して伝えることができる。 - 特定の絶滅危惧種について知ってもらうために，参照した情報を基に，生息地や見た目の特徴などといった重要な点を簡潔に整理して，聞き手にわかりやすく詳細を話して伝えることができる。	○			20
5	Unit 2 Which sports can really be called sports? < 1 学期中間考査 >	- 受け身の不定詞，助動詞 do による強調を用いた文の形・意味・用法を理解できる。 - 興味を示したり断ったり，主張と根拠を伝え合ったりするための適切な表現や方法を理解できる。 - 部活動について興味を示したり断ったり，e スポーツをスポーツとみなすかについて主張と根拠を伝え合ったりしながら，自分の考えを即興で話して伝え合うことができる。 - 部活動についての勧誘の場面で興味を示したり断ったり，ディベートの場面で，e スポーツをスポーツとみなすかについて主張と根拠を伝え合ったりしながら，自分の考えを即興で話して，詳細を伝え合うことができる。	○	○	○	
6	Unit 3 How do we choose what we eat?	- 先行詞を含む関係副詞，否定語の倒置を用いた文の形・意味・用法を理解できる。 - レストランのレビューで用いられる語いや表現，評価づけしたり，感想を述べたりする適切な方法を理解できる。 - レストランをお勧めするかどうかについて，自分の体験・経験を基に，情報を伝えたり評価づけしたり，感想を述べたりしながら，詳細を書くことができる。 - 友達にレストランを紹介するために，お勧めするかどうかについて，自分の体験・経験を基に，情報を伝えたり評価づけしたり，感想を述べたりしながら，事実と意見を区別して，詳細を整理して書くことができる。	○			
			○	○	○	

7	Unit 4 How have inventions changed history? < 1 学期期末考査 >	・強調構文、関係副詞の非制限用法を用いた文の形・意味・用法を理解できる。 ・発明品について、事実と意見を説明するための適切な表現や方法を理解できる。 ・発明品の世の中への影響について、見聞した情報を基に、事実と意見を区別しながら話して伝えることができる ・友達にレストランを紹介するために、お勧めするかどうかについて、自分の体験・経験を基に、情報を伝えたり評価づけしたり、感想を述べたりしながら、事実と意見を区別して、詳細を整理して書くことができる。	○			
9	Unit 5 What can we learn from traveling?	・接続詞＋分詞、完了不定詞を用いた文の形・意味・用法を理解できる。 ・利点と欠点を踏まえたうえで、自分の意見を書くための適切な方法を理解できる。 ・ギャップ・イヤーの普及について、利点と欠点を踏まえたうえで、つなぎ言葉を用いながら、自分の意見を複数のパラグラフで書くことができる。 ・ギャップ・イヤーの普及について、自分の意見を伝えるために、利点と欠点を踏まえたうえで、つなぎ言葉を用いながら、構成を意識して、複数のパラグラフで論理的に書くことができる。	○			
10	Unit 6 How do people's personalities affect their behavior? < 2 学期中間考査 >	・部分否定を用いた文の形・意味・用法を理解できる。 ・アンケート結果について、分析結果を伝えるための適切な表現や方法を理解できる。 ・性格に関するアンケートについて、クラスメートの回答結果を基に、割合を表したり解釈を付け加えたりして、話して伝えることができる。 ・プレゼンテーションの場面で、性格に関するアンケートについて、クラスメートの回答結果を基に、割合を表したり解釈を付け加えたりして、詳細を簡潔に整理して聞き手にわかりやすく話して伝えることができる。	○			
11	Unit 7 Who should we celebrate on our money?	・受け身の進行形、be 動詞＋不定詞を用いた文の形・意味・用法を理解できる。 ・相手の意見に応じるための適切な表現や方法を理解できる。 ・紙幣に取り上げるべき人物について、相手の意見に適切に応じながら、自分の考えを即興で話して伝え合うことができる。 ・紙幣に取り上げるべき人物について、グループの意見をまとめるために、相手の意見に適切に応じながら、自分の考えを即興で話し、詳細を伝え合	○			
				○	○	25
				○	○	
				○	○	
				○	○	25
				○	○	
				○	○	
				○	○	

12	Unit 8 How can we find out if news is real or fake? < 2 学期期末考査 >	うことができる。 ・複合関係副詞を用いた文の形・意味・用法を理解できる。 ・事実と意見を分けて伝えるための適切な表現や方法を理解できる。 ・ある記事を読んで分析した内容について、事実と意見を区別しながら、情報や自分の考えを即興で話して伝え合うことができる。 ・ニュースの真偽を判断するために、ある記事を読んで分析した内容について、事実と意見を区別しながら、情報や自分の考えを即興で話して、詳細を伝え合うことができる。	○			
1	Unit 9 What is important when choosing a job?	・過去の習慣を表す表現を用いた文の形・意味・用法を理解できる。 ・長所や経験を伝え合ったり、情報を詳しく聞き出したりするための適切な表現や方法を理解できる。 ・仕事をするうえでの長所や経験について、情報や自分の考えを即興で話して伝え合うことができる。 ・就職面接を想定した場面で、仕事をするうえでの長所や経験について、情報や自分の考え、評価を即興で話して、詳細を伝え合っている。	○			
2	Unit 10 How can we improve our school?	・未来進行形、未来完了形を用いた文の形・意味・用法を理解できる。 ・自分の考えを理由とともに伝え合うための適切な表現や方法を理解できる。 ・学校の改善について、自分の考えを理由とともに、即興で話して伝え合うことができる。 ・学校の改善について互いの意見を共有するために、自分の考えを理由とともに、即興で話して詳細を伝え合うことができる。	○			
3	< 学年末考査 >					25

※学習状況により、進度・内容を変更することがあります。

英語科 2年		論理・表現Ⅱ		年間授業計画（シラバス）	
科目名	論理・表現Ⅱ	対象	スポーツ	コース	単位数 2 単位
教科書	FACTBOOK English Logic and Expression Ⅱ			出版社	桐原書店
副教材	FACTBOOK English Logic and Expression Ⅱ WORKBOOK <Essential> 英文法語法 Engage 3rd Edition				

1 学習の到達目標

- ① 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して複数の段落から成る文章で詳しく書いて伝えることができる。
- ② 日常的な話題や社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、多様な語句や文を用いて、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して複数の段落から成る文章で詳しく書いて伝えることができる。

2 評価の観点・趣旨・方法、成績評価の方法

①評価の観点・趣旨・方法

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の内容	- 自分の意見や主張を伝えるために必要となる論理の構成や展開及び表現等を理解している。 - 授業形態について、自分の意見や主張を、論理の構成や展開を工夫して詳しく書く技能を身に付けている。	読み手によく理解してもらうように、授業形態による効果の違いについて、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、自分の意見や主張を、論理の構成や展開を工夫して複数の段落を用いて詳しく書いて伝えている。	読み手によく理解してもらうように、授業形態による効果の違いについて、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、自分の意見や主張を、論理の構成や展開を工夫して、複数の段落を用いて詳しく書いて伝えようとしている。
評価の方法	学習活動への姿勢 プリント ワークブック 小テスト 定期考査	学習活動への姿勢 プリント ワークブック 小テスト 定期考査	学習活動への姿勢 プリント ワークブック 課題提出

②成績評価の方法

①の評価の方法によって、学年末に評定にまとめます。

評価の内容 知識・技能 35%，思考・判断・表現 35%，主体的に学習に取り組む態度 30%

3 学習計画

※評価の観点：a（知識・技能）、b（思考・判断・表現）、c（主体的に学習に取り組む態度）

月	学 習 単 元	主 な 学 習 内 容 と 到 達 目 標	評価の観点			時間数
			a	b	c	
4	予習復習体験学習 Unit 1 How should we lead a healthy lifestyle?	・主語（無生物主語を含む）について理解し、適切に使うことができる。 ・健康の問題や健康のための習慣について自分の意見を述べることができる。 ・砂糖税の導入について意見文を書くことができる。	○		○	4
5	Unit 2 Steps we can take to Zero Hunger < 1 学期中間考査 >	・目的語や補語の拡張について理解し、適切に使うことができる。 ・飢餓を解決する方法について議論することができる。 ・食料寄付について、パートナーと短い会話をするができる。	○	○	○	5
6	Unit 3 What are good and bad sides of urbanization?	・名詞の説明（前置詞句・分詞・to 不定詞、節）について理解し、適切に使うことができる。 ・大都市で起きている問題について議論することができる。 ・都市化が及ぼす影響について意見文を書くことができる。	○	○	○	8
7	Unit 4 Is your city sustainable enough? < 1 学期期末考査 >	・動詞句の説明、文の説明、レポート文について理解し、適切に使うことができる。 ・都市問題について聞いた情報をもとに説明することができる。 ・自分の住む地域の自治体に要望について議論したり書いたりすることができる。	○	○	○	2
8	Unit 5		○		○	1
9	Water supporting our lives	・進行形、完了形の表す意味や時制の一致について理解し、適切に使うことができる。 ・日本文化における自然物への信仰や野生生物保護公園の成功事例について、話し合うことができる。 ・環境保護のあり方について意見を述べたり書いたりすることができる。		○	○	6
10	Unit 6 How to live a plastic-free life < 2 学期中間考査 >	・受動態について理解し、適切に使うことができる。 ・プラスチックパッケージの廃棄やその代替素材について議論することができる。 ・プラスチックごみ削減を促進する企画を提案するメールを書くことができる。	○	○	○	7
11	Unit 7 How can we become more health-conscious?	・助動詞を使ったさまざまな表現や仮定法が使われる表現について理解し、適切に使うことができる。 ・海外でのボランティア活動や NGO の活動について情報を共有しながら議論することができる。 ・海外の国際機関で働きたいかどうかについて意見文を書くことができる。	○	○	○	8

12	Unit 8 Challenges to equality < 2 学期期末考査 >	・原級，比較級，最上級を用いた比較表現について理解し，適切に使うことができる。 ・育児についてや女性のクオータ制が必要かどうかについて議論することができる。 ・ジェンダー平等について聞いた情報をもとに説明したり意見を述べたりすることができる。	○		○	
1	Unit 9 Produce locally, consume locally	・強調表現，倒置表現，代用・省略・同格・挿入の表現，話法について理解し，適切に使うことができる。 ・地産の食品を食べることについて，パートナーと短い会話をすることができる。	○	○		5
2		・地産地消について意見文を述べるることができる。		○	○	8
	Unit 10 Sharing as one way to create new value	・否定を表す表現（部分否定や準否定表現を含む）について理解し，適切に使うことができる。 ・シェアリングエコノミーについて，シェアハウスなどの事例をもとに議論することができる。 ・学校で始めてほしいシェアリングサービスについての要望書を書くことができる。	○		○	
3	< 学年末考査 >			○	○	2

※学習状況により，進度・内容を変更することがあります。

英語科 2年		論理・表現Ⅱ		年間授業計画（シラバス）	
科目名	論理・表現Ⅱ	対象	進学	コース	単位数 2 単位
教科書	FACTBOOK English Logic and Expression Ⅱ			出版社	桐原書店
副教材	FACTBOOK English Logic and Expression Ⅱ WORKBOOK <Essential> 英文法語法 Engage 3rd Edition Engage Basic Training Book				

1 学習の到達目標

- ① 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して複数の段落から成る文章で詳しく書いて伝えることができる。
- ② 日常的な話題や社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、多様な語句や文を用いて、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して複数の段落から成る文章で詳しく書いて伝えることができる。

2 評価の観点・趣旨・方法、成績評価の方法

①評価の観点・趣旨・方法

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の内容	- 自分の意見や主張を伝えるために必要となる論理の構成や展開及び表現等を理解している。 - 授業形態について、自分の意見や主張を、論理の構成や展開を工夫して詳しく書く技能を身に付けている。	読み手によく理解してもらえるように、授業形態による効果の違いについて、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、自分の意見や主張を、論理の構成や展開を工夫して複数の段落を用いて詳しく書いて伝えている。	読み手によく理解してもらえるように、授業形態による効果の違いについて、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、自分の意見や主張を、論理の構成や展開を工夫して、複数の段落を用いて詳しく書いて伝えようとしている。
評価の方法	学習活動への姿勢 プリント ワークブック 小テスト 定期考査	学習活動への姿勢 プリント ワークブック 小テスト 定期考査	学習活動への姿勢 プリント ワークブック 課題提出

②成績評価の方法

①の評価の方法によって、学年末に評定にまとめます。

評価の内容 知識・技能 35%，思考・判断・表現 35%，主体的に学習に取り組む態度 30%

3 学習計画

※評価の観点：a（知識・技能），b（思考・判断・表現），c（主体的に学習に取り組む態度）

月	学 習 単 元	主 な 学 習 内 容 と 到 達 目 標	評価の観点			時間数
			a	b	c	
4	予習復習体験学習 Unit 1 How should we lead a healthy lifestyle?	・主語（無生物主語を含む）について理解し、適切に使うことができる。 ・健康の問題や健康のための習慣について自分の意見を述べることができる。 ・砂糖税の導入について意見文を書くことができる。	○		○	4
5	Unit 2 Steps we can take to Zero Hunger < 1 学期中間考査 >	・目的語や補語の拡張について理解し、適切に使うことができる。 ・飢餓を解決する方法について議論することができる。 ・食料寄付について、パートナーと短い会話をするることができる。	○	○	○	5
6	Unit 3 What are good and bad sides of urbanization?	・名詞の説明（前置詞句・分詞・to 不定詞，節）について理解し、適切に使うことができる。 ・大都市で起きている問題について議論することができる。 ・都市化が及ぼす影響について意見文を書くことができる。	○	○	○	8
7	Unit 4 Is your city sustainable enough? < 1 学期期末考査 >	・動詞句の説明，文の説明，レポート文について理解し、適切に使うことができる。 ・都市問題について聞いた情報をもとに説明することができる。 ・自分の住む地域の自治体に要望について議論したり書いたりすることができる。	○	○	○	2
8	Unit 5	・進行形，完了形の表す意味や時制の一致について理解し，適切に使うことができる。	○		○	1
9	Water supporting our lives	・日本文化における自然物への信仰や野生生物保護公園の成功事例について，話し合うことができる。 ・環境保護のあり方について意見を述べたり書いたりすることができる。		○	○	6
10	Unit 6 How to live a plastic-free life < 2 学期中間考査 >	・受動態について理解し，適切に使うことができる。 ・プラスチックパッケージの廃棄やその代替素材について議論することができる。 ・プラスチックごみ削減を促進する企画を提案するメールを書くことができる。	○	○	○	7
11	Unit 7 How can we become more health-conscious?	・助動詞を使ったさまざまな表現や仮定法が使われる表現について理解し，適切に使うことができる。 ・海外でのボランティア活動や NGO の活動について情報を共有しながら議論することができる。 ・海外の国際機関で働きたいかどうかについて意見文を書くことができる。	○	○	○	8

12	Unit 8 Challenges to equality < 2 学期期末考査 >	・原級，比較級，最上級を用いた比較表現について理解し，適切に使うことができる。 ・育児についてや女性のクオータ制が必要かどうかについて議論することができる。 ・ジェンダー平等について聞いた情報をもとに説明したり意見を述べたりすることができる。	○		○	
1	Unit 9 Produce locally, consume locally	・強調表現，倒置表現，代用・省略・同格・挿入の表現，話法について理解し，適切に使うことができる。 ・地産の食品を食べることについて，パートナーと短い会話をすることができる。	○	○		5
2	 Unit 10 Sharing as one way to create new value	・地産地消について意見文を述べるすることができる。		○	○	8
3	 < 学年末考査 >	・否定を表す表現（部分否定や準否定表現を含む）について理解し，適切に使うことができる。 ・シェアリングエコノミーについて，シェアハウスなどの事例をもとに議論することができる。 ・学校で始めてほしいシェアリングサービスについての要望書を書くことができる。	○		○	
				○	○	2

※学習状況により，進度・内容を変更することがあります。

英語科 2年		論理・表現Ⅱ		年間授業計画（シラバス）	
科目名	論理・表現Ⅱ	対象	特進	コース	単位数 2 単位
教科書	FACTBOOK English Logic and Expression Ⅱ			出版社	桐原書店
副教材	FACTBOOK English Logic and Expression Ⅱ WORKBOOK <Mastery> 英文法・語法 Vintage 4th Edition				

1 学習の到達目標

- ① 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して複数の段落から成る文章で詳しく書いて伝えることができる。
- ② 日常的な話題や社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、多様な語句や文を用いて、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して複数の段落から成る文章で詳しく書いて伝えることができるよ。

2 評価の観点・趣旨・方法、成績評価の方法

①評価の観点・趣旨・方法

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の内容	- 自分の意見や主張を伝えるために必要となる論理の構成や展開及び表現等を理解している。 - 授業形態について、自分の意見や主張を、論理の構成や展開を工夫して詳しく書く技能を身に付けている。	読み手によく理解してもらえるように、授業形態による効果の違いについて、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、自分の意見や主張を、論理の構成や展開を工夫して複数の段落を用いて詳しく書いて伝えている。	読み手によく理解してもらえるように、授業形態による効果の違いについて、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、自分の意見や主張を、論理の構成や展開を工夫して、複数の段落を用いて詳しく書いて伝えようとしている。
評価の方法	学習活動への姿勢 ノートプリント 定期考査	学習活動への姿勢 ノートプリント 定期考査	学習活動への姿勢 ノートプリント 課題提出

②成績評価の方法

①の評価の方法によって、学年末に評定にまとめます。

評価の内容 知識・技能 35%，思考・判断・表現 35%，主体的に学習に取り組む態度 30%

3 学習計画

※評価の観点：a（知識・技能）、b（思考・判断・表現）、c（主体的に学習に取り組む態度）

月	学 習 単 元	主 な 学 習 内 容 と 到 達 目 標	評価の観点			時間 数
			a	b	c	
4	予習復習体験学習 Unit 1 How should we lead a healthy lifestyle?	・主語（無生物主語を含む）について理解し、適切に使うことができる。 ・健康の問題や健康のための習慣について自分の意見を述べる ことができる。 ・砂糖税の導入について意見文を書くことができる。	○		○	4
5	Unit 2 Steps we can take to Zero Hunger < 1 学期中間考査 >	・目的語や補語の拡張について理解し、適切に使うことができる。 ・飢餓を解決する方法について議論することができる。 ・食料寄付について、パートナーと短い会話をする ことができる。	○	○	○	5
6	Unit 3 What are good and bad sides of urbanization?	・名詞の説明（前置詞句・分詞・to 不定詞、節）について理解 し、適切に使うことができる。 ・大都市で起きている問題について議論することができる。 ・都市化が及ぼす影響について意見文を書くことができる。	○	○	○	8
7	Unit 4 Is your city sustainable enough? < 1 学期期末考査 >	・動詞句の説明、文の説明、レポート文について理解し、適切に 使うことができる。 ・都市問題について聞いた情報をもとに説明することができる。 ・自分の住む地域の自治体に要望について議論したり書いたりす ることができる。	○	○	○	2
8	Unit 5	・進行形、完了形の表す意味や時制の一致について理解し、適切 に使うことができる。	○		○	1
9	Water supporting our lives	・日本文化における自然物への信仰や野生生物保護公園の成功事 例について、話し合うことができる。 ・環境保護のあり方について意見を述べたり書いたりする ことができる。		○	○	6
10	Unit 6 How to live a plastic- free life < 2 学期中間考査 >	・受動態について理解し、適切に使うことができる。 ・プラスチックパッケージの廃棄やその代替素材について議論 することができる。 ・プラスチックごみ削減を促進する企画を提案するメールを書く ことができる。	○	○	○	7
11	Unit 7 How can we become more health- conscious?	・助動詞を使ったさまざまな表現や仮定法が使われる表現につい て理解し、適切に使うことができる。 ・海外でのボランティア活動や NGO の活動について情報を共有 しながら議論することができる。 ・海外の国際機関で働きたいかどうかについて意見文を書く ことができる。	○	○	○	8

12	Unit 8 Challenges to equality < 2 学期期末考査 >	・原級，比較級，最上級を用いた比較表現について理解し，適切に使うことができる。 ・育児についてや女性のクオータ制が必要かどうかについて議論することができる。 ・ジェンダー平等について聞いた情報をもとに説明したり意見を述べたりすることができる。	○		○	
1	Unit 9 Produce locally, consume locally	・強調表現，倒置表現，代用・省略・同格・挿入の表現，話法について理解し，適切に使うことができる。 ・地産の食品を食べることについて，パートナーと短い会話をすることができる。	○	○		5
2	 Unit 10 Sharing as one way to create new value	・地産地消について意見文を述べるすることができる。		○	○	8
3	 < 学年末考査 >	・否定を表す表現（部分否定や準否定表現を含む）について理解し，適切に使うことができる。 ・シェアリングエコノミーについて，シェアハウスなどの事例をもとに議論することができる。 ・学校で始めてほしいシェアリングサービスについての要望書を書くことができる。	○		○	
				○	○	2

※学習状況により，進度・内容を変更することがあります。

英語 科 3 年 英語コミュニケーションⅢ 年間授業計画（シラバス）					
科目名	英語コミュニケーションⅢ	対象	スポーツ	コース	単位数 4 単位
教科書	Power On English Communication Ⅲ 出版社 東京書籍				
副教材	Power On English Communication Ⅲ WORKBOOK transfer 英語総合問題演習 C（桐原書店） ワードボックス英単語・熟語 Essential（美誠社）				

1 学習の到達目標

日常的・社会的な話題について、支援をほとんど活用しなくても、 1. 必要な情報を聞き取り、話の展開や話し手の意図を把握したり、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えたりすることができる。 2. 必要な情報を読み取り、文章の展開や書き手の意図を把握したり、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えたりすることができる。 3. 多様な語句や文を目的や場面、状況などに応じて適切に用いて、情報や考え、気持ちなどを詳しく話して伝え合うやり取りを続け、会話を発展させることができる。また、課題の解決策などを論理的に詳しく話して伝え合うことができる。 4. 多様な語句や文を目的や場面、状況などに応じて適切に用いて、情報や考え、気持ちなどを論理的に詳しく話して伝えることができる。 5. 多様な語句や文を目的や場面、状況などに応じて適切に用いて、情報や考え、気持ちなどを複数の段落から成る文章で論理的に詳しく書いて伝えることができる。
--

2 評価の観点・内容・方法、及び成績評価の方法

①評価の観点・内容・方法

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の内容	・ 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深めている。 ・ 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。
評価の方法	定期考査 学力テスト 単元テスト 小テスト レポート 授業観察など	定期考査 学力テスト 単元テスト 小テスト レポート 授業観察など	学習課題 ワークシート レポート ノート 授業観察など

②成績評価の方法

①の評価の方法によって、学年末に評定にまとめます。

評価の内容 知識・技能 35%，思考・判断・表現 35%，主体的に学習に取り組む態度 30%

3 学習計画

※評価の観点：a（知識・技能）、b（思考・判断・表現）、c（主体的に学習に取り組む態度）

月	学習単元	主な学習内容と到達目標	評価の観点			時間数
			a	b	c	
4	予習復習体験学習 Lesson 1 Library of the Future	・予習復習の体験学習をする。 ・現在分詞の分詞構文，関係副詞 where を用いた文の形・意味・用法を理解している。 ・日本の最近の図書館とニューヨーク公共図書館について，現在分詞の分詞構文，関係副詞 where などの理解を基に，必要な情報，話し手・書き手の意図，概要や要点，詳細を目的に応じて捉えたり，理想の図書館について，多様な語句や文を用いて，情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝える技能を身に付けている。 ・日本の最近の図書館とニューヨーク公共図書館について，必要な情報，話し手・書き手の意図，概要や要点，詳細を捉えたり，聞いたり読んだりしたことを活用しながら，理想の図書館について，情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝えている。	○ ○			13
5	Lesson 2 History Maker Otani Shohei < 1 学期中間考査 >	・現在完了進行形，be 動詞＋to 不定詞を用いた文の形・意味・用法を理解している。 ・メジャーリーガーである大谷翔平選手について，現在完了進行形，be 動詞＋to 不定詞などの理解を基に，必要な情報，話し手・書き手の意図，概要や要点，詳細を目的に応じて捉えたり，自分の好きなスポーツ選手について，多様な語句や文を用いて，情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝える技能を身に付けている。 ・メジャーリーガーである大谷翔平選手について，必要な情報，話し手・書き手の意図，概要や要点，詳細を捉えたり，聞いたり読んだりしたことを活用しながら，自分の好きなスポーツ選手について，情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝えている。	○ ○			13
6	Lesson 3 Zoo Dentists: How They Work for Zoo Animals	・比較表現，S+V [使役]＋O+C [原形不定詞] を用いた文の形・意味・用法を理解している。 ・動物の歯科医の仕事について，比較表現，S+V [使役]＋O+C [原形不定詞] などの理解を基に，必要な情報，話し手・書き手の意図，概要や要点，詳細を目的に応じて捉えたり，興味のある職業について，多様な語句や文を用いて，情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝える技能を身に付けている。 ・動物の歯科医の仕事について，必要な情報，話し手・書き手の意図，概要や要点，詳細を捉えたり，聞いたり読んだりしたことを活用しながら，興味のある職業について，情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝える技能を身に付けている。	○ ○			13

7	Lesson 4 Nature Photographer in Alaska < 1 学期期末考査 >	いたりして伝えている。 ・関係代名詞の非制限用法, 関係代名詞 what, 分詞構文を用いた文の形・意味・用法を理解している。 ・写真家の松本紀生さんの半生や作品について, 関係代名詞の非制限用法, 関係代名詞 what, 分詞構文などの理解を基に, 必要な情報, 話し手・書き手の意図, 概要や要点, 詳細を目的に応じて捉えたり, 自分が選んだ松本紀生さんの写真について, 多様な語句や文を用いて, 情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝える技能を身に付けている。 ・写真家の松本紀生さんの半生や作品について, 必要な情報, 話し手・書き手の意図, 概要や要点, 詳細を捉えたり, 聞いたり読んだりしたことを活用しながら, 自分が選んだ松本紀生さんの写真について, 情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝えている。	○			8
9	Lesson 5 A Science Award That Makes You Laugh, and Then Think	・S+V+O+C, 過去完了進行形, 受け身を用いた文の形・意味・用法を理解している。 ・イグ・ノーベル賞を受賞した研究について, S+V+O+C, 過去完了進行形, 受け身などの理解を基に, 必要な情報, 話し手・書き手の意図, 概要や要点, 詳細を目的に応じて捉えたり, イグ・ノーベル賞を受賞した研究について, 情報や自分の考えなどを多様な語句や文を用いて, 詳しく話したり書いたりして伝える技能を身に付けている。 ・イグ・ノーベル賞を受賞した研究について, 必要な情報, 話し手・書き手の意図, 概要や要点, 詳細を捉えたり, 聞いたり読んだりしたことを活用しながら, イグ・ノーベル賞を受賞した研究について, 情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝えている。	○		○	13
10	Lesson 6 Where Does Halloween Come from?	・「追加」を表すディスコースマーカの意味や働きを理解している。 ・日本でのハロウィーンの様子やハロウィーンの起源と歴史について, 「追加」を表すディスコースマーカの理解を基に, 話や文章の展開に注意しながら, 必要な情報, 話し手・書き手の意図, 概要や要点, 詳細を目的に応じて捉えたり, ハロウィーンの商業主義への批判に対して, 賛成または反対の立場を選び, 多様な語句や文を用いて, 情報や自分の考えなどを論理的に詳しく話したり書いたりして伝える技能を身に付けている。 ・日本でのハロウィーンの様子やハロウィーンの起源と歴史について, 話や文章の展開に注意しながら, 必要な情報, 話し手・書き手の意図, 概要や要点, 詳細を捉えたり, 聞いたり読んだりしたことを活用しながら, ハロウィーンの商業主義への批判に対して, 賛成	○		○	13

11	Lesson 7 Will 3D Printing Technology Change the World? < 2 学期期末考査 >	または反対の立場を選び、情報や自分の考えなどを論理的に詳しく話したり書いたりして伝えている。 ・客観的な事実と筆者の意見の区別を理解している。 ・3D プリント技術の使用例や今後の課題などについて、客観的な事実と筆者の意見の区別の理解を基に、話や文章の展開に注意しながら、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えたり、3D プリンターで家を建てることについて、賛成または反対の立場を明確にして、多様な語句や文を用いて、情報や自分の考えなどを論理的に詳しく話したり書いたりして伝える技能を身に付けている。 ・3D プリント技術の使用例や今後の課題などについて、話や文章の展開に注意しながら、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、3D プリンターで家を建てることについて、賛成または反対の立場を明確にして、情報や自分の考えなどを論理的に詳しく話したり書いたりして伝えている。	○	○			10
12	Lesson 8 A Conductor of the Underground Railroad	・「時間順序」を表すディスコースマーカの意味や働きを理解している。 ・奴隷制度下の人権問題や、ハリエット・タブマンの功績について、「時間順序」を表すディスコースマーカの理解を基に、話や文章の展開に注意しながら、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えたり、難民を救うためにできることについて、多様な語句や文を用いて、情報や自分の考えなどを論理的に詳しく話したり書いたりして伝える技能を身に付けている。 ・奴隷制度下の人権問題や、ハリエット・タブマンの功績について、話や文章の展開に注意しながら、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、難民を救うためにできることについて、情報や自分の考えなどを論理的に詳しく話したり書いたりして伝えている。	○	○			4

※学習状況により、進度・内容を変更することがあります。

英語 科 3 年 英語コミュニケーションⅢ 年間授業計画（シラバス）					
科目名	英語コミュニケーションⅢ	対象	進学	コース	単位数 4 単位
教科書	Power On English Communication Ⅲ 出版社 東京書籍				
副教材	Power On English Communication Ⅲ WORKBOOK transfer 英語総合問題演習 C（桐原書店） ワードボックス英単語・熟語 Essential（美誠社）				

1 学習の到達目標

日常的・社会的な話題について、支援をほとんど活用しなくても、 - 必要な情報を聞き取り、話の展開や話し手の意図を把握したり、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えたりすることができる。 - 必要な情報を読み取り、文章の展開や書き手の意図を把握したり、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えたりすることができる。 - 多様な語句や文を目的や場面、状況などに応じて適切に用いて、情報や考え、気持ちなどを詳しく話して伝え合うやり取りを続け、会話を発展させることができる。また、課題の解決策などを論理的に詳しく話して伝え合うことができる。 - 多様な語句や文を目的や場面、状況などに応じて適切に用いて、情報や考え、気持ちなどを論理的に詳しく話して伝えることができる。 - 多様な語句や文を目的や場面、状況などに応じて適切に用いて、情報や考え、気持ちなどを複数の段落から成る文章で論理的に詳しく書いて伝えることができる。
--

2 評価の観点・内容・方法、及び成績評価の方法

①評価の観点・内容・方法

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の内容	- 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深めている。 - 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。
評価の方法	定期考査 学力テスト 単元テスト 小テスト レポート 授業観察など	定期考査 学力テスト 単元テスト 小テスト レポート 授業観察など	学習課題 ワークシート レポート ノート 授業観察など

②成績評価の方法

①の評価の方法によって、学年末に評定にまとめます。

評価の内容 知識・技能 35%，思考・判断・表現 35%，主体的に学習に取り組む態度 30%

3 学習計画

※評価の観点：a（知識・技能）、b（思考・判断・表現）、c（主体的に学習に取り組む態度）

月	学習単元	主な学習内容と到達目標	評価の観点			時間数
			a	b	c	
4	予習復習体験学習 Lesson 1 Library of the Future	・予習復習の体験学習をする。 ・現在分詞の分詞構文，関係副詞 where を用いた文の形・意味・用法を理解している。 ・日本の最近の図書館とニューヨーク公共図書館について，現在分詞の分詞構文，関係副詞 where などの理解を基に，必要な情報，話し手・書き手の意図，概要や要点，詳細を目的に応じて捉えたり，理想の図書館について，多様な語句や文を用いて，情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝える技能を身に付けている。 ・日本の最近の図書館とニューヨーク公共図書館について，必要な情報，話し手・書き手の意図，概要や要点，詳細を捉えたり，聞いたり読んだりしたことを活用しながら，理想の図書館について，情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝えている。	○ ○			13
5	Lesson 2 History Maker Otani Shohei < 1 学期中間考査 >	・現在完了進行形，be 動詞＋to 不定詞を用いた文の形・意味・用法を理解している。 ・メジャーリーガーである大谷翔平選手について，現在完了進行形，be 動詞＋to 不定詞などの理解を基に，必要な情報，話し手・書き手の意図，概要や要点，詳細を目的に応じて捉えたり，自分の好きなスポーツ選手について，多様な語句や文を用いて，情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝える技能を身に付けている。 ・メジャーリーガーである大谷翔平選手について，必要な情報，話し手・書き手の意図，概要や要点，詳細を捉えたり，聞いたり読んだりしたことを活用しながら，自分の好きなスポーツ選手について，情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝えている。	○ ○			13
6	Lesson 3 Zoo Dentists: How They Work for Zoo Animals	・比較表現，S+V [使役]＋O+C [原形不定詞] を用いた文の形・意味・用法を理解している。 ・動物の歯科医の仕事について，比較表現，S+V [使役]＋O+C [原形不定詞] などの理解を基に，必要な情報，話し手・書き手の意図，概要や要点，詳細を目的に応じて捉えたり，興味のある職業について，多様な語句や文を用いて，情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝える技能を身に付けている。 ・動物の歯科医の仕事について，必要な情報，話し手・書き手の意図，概要や要点，詳細を捉えたり，聞いたり読んだりしたことを活用しながら，興味のある職業について，情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝える技能を身に付けている。	○ ○			13

7	Lesson 4 Nature Photographer in Alaska < 1 学期期末考査 >	いたりして伝えている。 ・関係代名詞の非制限用法, 関係代名詞 what, 分詞構文を用いた文の形・意味・用法を理解している。 ・写真家の松本紀生さんの半生や作品について, 関係代名詞の非制限用法, 関係代名詞 what, 分詞構文などの理解を基に, 必要な情報, 話し手・書き手の意図, 概要や要点, 詳細を目的に応じて捉えたり, 自分が選んだ松本紀生さんの写真について, 多様な語句や文を用いて, 情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝える技能を身に付けている。 ・写真家の松本紀生さんの半生や作品について, 必要な情報, 話し手・書き手の意図, 概要や要点, 詳細を捉えたり, 聞いたり読んだりしたことを活用しながら, 自分が選んだ松本紀生さんの写真について, 情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝えている。	○			8
9	Lesson 5 A Science Award That Makes You Laugh, and Then Think	・S+V+O+C, 過去完了進行形, 受け身を用いた文の形・意味・用法を理解している。 ・イグ・ノーベル賞を受賞した研究について, S+V+O+C, 過去完了進行形, 受け身などの理解を基に, 必要な情報, 話し手・書き手の意図, 概要や要点, 詳細を目的に応じて捉えたり, イグ・ノーベル賞を受賞した研究について, 情報や自分の考えなどを多様な語句や文を用いて, 詳しく話したり書いたりして伝える技能を身に付けている。 ・イグ・ノーベル賞を受賞した研究について, 必要な情報, 話し手・書き手の意図, 概要や要点, 詳細を捉えたり, 聞いたり読んだりしたことを活用しながら, イグ・ノーベル賞を受賞した研究について, 情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝えている。	○		○	13
10	Lesson 6 Where Does Halloween Come from?	・「追加」を表すディスコースマーカの意味や働きを理解している。 ・日本でのハロウィーンの様子やハロウィーンの起源と歴史について, 「追加」を表すディスコースマーカの理解を基に, 話や文章の展開に注意しながら, 必要な情報, 話し手・書き手の意図, 概要や要点, 詳細を目的に応じて捉えたり, ハロウィーンの商業主義への批判に対して, 賛成または反対の立場を選び, 多様な語句や文を用いて, 情報や自分の考えなどを論理的に詳しく話したり書いたりして伝える技能を身に付けている。 ・日本でのハロウィーンの様子やハロウィーンの起源と歴史について, 話や文章の展開に注意しながら, 必要な情報, 話し手・書き手の意図, 概要や要点, 詳細を捉えたり, 聞いたり読んだりしたことを活用しながら, ハロウィーンの商業主義への批判に対して, 賛成	○		○	13

11	Lesson 7 Will 3D Printing Technology Change the World? < 2 学期期末考査 >	または反対の立場を選び、情報や自分の考えなどを論理的に詳しく話したり書いたりして伝えている。 ・客観的な事実と筆者の意見の区別を理解している。 ・3D プリント技術の使用例や今後の課題などについて、客観的な事実と筆者の意見の区別の理解を基に、話や文章の展開に注意しながら、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えたり、3D プリンターで家を建てることについて、賛成または反対の立場を明確にして、多様な語句や文を用いて、情報や自分の考えなどを論理的に詳しく話したり書いたりして伝える技能を身に付けている。 ・3D プリント技術の使用例や今後の課題などについて、話や文章の展開に注意しながら、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、3D プリンターで家を建てることについて、賛成または反対の立場を明確にして、情報や自分の考えなどを論理的に詳しく話したり書いたりして伝えている。	○	○			10
12	Lesson 8 A Conductor of the Underground Railroad	・「時間順序」を表すディスコースマーカーの意味や働きを理解している。 ・奴隷制度下の人権問題や、ハリエット・タブマンの功績について、「時間順序」を表すディスコースマーカーの理解を基に、話や文章の展開に注意しながら、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えたり、難民を救うためにできることについて、多様な語句や文を用いて、情報や自分の考えなどを論理的に詳しく話したり書いたりして伝える技能を身に付けている。 ・奴隷制度下の人権問題や、ハリエット・タブマンの功績について、話や文章の展開に注意しながら、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、難民を救うためにできることについて、情報や自分の考えなどを論理的に詳しく話したり書いたりして伝えている。	○	○			4

※学習状況により、進度・内容を変更することがあります。

英語 科 3 年 英語コミュニケーションⅢ 年間授業計画（シラバス）					
科目名	英語コミュニケーションⅢ	対象	特進	コース	単位数 4 単位
教科書	ENRICH LEARNING English Communication Ⅲ 出版社 東京書籍				
副教材	システム英単語[5訂版] Change the World (Standard) transfer 英語総合問題演習 E				

1 学習の到達目標

日常的・社会的な話題について、支援をほとんど活用しなくても、

1. 必要な情報を聞き取り、話の展開や話し手の意図を把握したり、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えたりすることができる。
2. 必要な情報を読み取り、文章の展開や書き手の意図を把握したり、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えたりすることができる。
3. 多様な語句や文を目的や場面、状況などに応じて適切に用いて、情報や考え、気持ちなどを詳しく話して伝え合うやり取りを続け、会話を発展させることができる。また、課題の解決策などを論理的に詳しく話して伝え合うことができる。
4. 多様な語句や文を目的や場面、状況などに応じて適切に用いて、情報や考え、気持ちなどを論理的に詳しく話して伝えることができる。
5. 多様な語句や文を目的や場面、状況などに応じて適切に用いて、情報や考え、気持ちなどを複数の段落から成る文章で論理的に詳しく書いて伝えることができる。

2 評価の観点・内容・方法、及び成績評価の方法

①評価の観点・内容・方法

評価の 観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の 内容	・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深めている。 ・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。
評価の 方法	定期考査 学力テスト 単元テスト 小テスト レポート 授業観察など	定期考査 学力テスト 単元テスト 小テスト レポート 授業観察など	学習課題 ワークシート レポート ノート 授業観察など

②成績評価の方法

①の評価の方法によって、学年末に評定にまとめます。

評価の内容 知識・技能 35%，思考・判断・表現 35%，主体的に学習に取り組む態度 30%

3 学習計画

※評価の観点：a（知識・技能）、b（思考・判断・表現）、c（主体的に学習に取り組む態度）

月	学 習 単 元	主 な 学 習 内 容 と 到 達 目 標	評価の観点			時間数
			a	b	C	
4	予習復習体験学習 Unit 1 What thinking and study habits can help us succeed?	- 予習復習の体験学習をする。 - 共感の気持ちを示したり、助言を伝え合ったりするための適切な表現や方法を理解している。 - よくある勉強の悩みについて、共感の気持ちを示したり、助言を伝え合ったりするための適切な表現や方法を用いて、情報を詳しく話して伝え合うやり取りを続け、会話を発展させる技能を身に付けている。 - 問題を解決するために、よくある勉強の悩みについて、共感の気持ちを示したり、助言を伝え合ったりして、情報を詳しく話して伝え合うやり取りを続け、会話を発展させている。	○			13
5	Unit 2 How can we use AI to improve education? < 1 学期中間考査 >	- 接続詞を用いた複数の段落から成る論説文の形式や、自分の意見や考えを理由や根拠を示しながら書いて伝える方法を理解している。 - 人工知能が教育にもたらす利点について、接続詞を用いた複数の段落から成る論説文の形で、理由や根拠を示しながら、自分の意見や考えを論理的に詳しく書いて伝える技能を身に付けている。 - 人工知能が教育にもたらす利点について、自分の考えを知ってもらうために、聞いたり読んだりしたことを基に、理由や根拠を示しながら、意見や考えを論理的に詳しく書いて伝えている。	○		○	13
6	Unit 3 What do folktales tell us about human values?	- 民話の内容を効果的に伝える方法を理解している。 - 民話で使われる文の形・意味・用法を理解している。 - 民話で使われる文の理解を基に、聞き手にわかりやすく民話の内容を伝えたり、変更した民話の内容を詳しく話して伝えたりする技能を身に付けている。 - 民話を自分なりに解釈して考えを深めるために、聞いたり読んだりしたことを基に、聞き手にわかりやすく民話の内容を伝えたり、変更した民話の内容を詳しく話して伝えたりしている。	○		○	13
7	Unit 4 What items would you place in a time capsule? < 1 学期期末考査 >	- 賛成・反対したり、選択を伝え合って結論を得たりするための適切な表現や方法を理解している。 - タイムカプセルで残したいものについて、賛成・反対したり、選択を伝え合って結論を得たりするための適切な表現や方法を用いて、意見や考えを理由とともに詳しく話して伝え合うやり取りを続け、会話を発展させる技能を身に付けている。 - 互いが納得できる結論を得るために、タイムカプセルで残したいものについて、賛成・反対した	○		○	8

9	Unit 5 What are the rewards and challenges of living in a different culture?	り、選択を伝え合ったりして、意見や考えを理由とともに詳しく話して伝え合うやり取りを続け、会話を発展させている。 ・2つの観点を対比しながら自分の意見を述べる論説文の構成や表現を理解している。 ・異文化の中で暮らすことの長所・短所について、2つの観点を対比しながら意見を述べる論説文の構成や表現を用いて、論理的に詳しく書いて伝える技能を身に付けている。 ・異文化の中で暮らすことの長所・短所について、自分の考えを知ってもらうために、2つの観点を対比しながら、意見や考えを論理的に詳しく書いて伝えている。	○			13
10	Unit 6 How can art be made accessible to all? < 2学期中間考査 >	・芸術作品を描写したり、作品の感想を述べ合ったりするための適切な表現や方法を理解している。 ・芸術作品について、作品を描写したり、作品の感想を述べ合ったりするための適切な表現や方法を用いて、情報や考えを即興で詳しく話して伝え合うやり取りを続け、会話を発展させる技能を身に付けている。 ・芸術作品を楽しみ、それぞれの感じ方の違いに気付くために、作品の描写や感想を即興で詳しく話して伝え合うやり取りを続け、会話を発展させている。	○		○	13
11	Unit 7 How can we preserve life below water? < 2学期期末考査 >	・問題と解決策を説明する論説文の構成や表現を理解している。 ・問題と解決策を説明する論説文の構成や表現の知識を基に、身近な魚の現状について、論理的に詳しく書いて伝える技能を身に付けている。 ・身近な魚の現状について知ってもらうために、聞いたり読んだりしたことを基に、その生態や問題、解決策を明らかにしながら、英文を推敲するなどして、情報や考えを論理的に詳しく書いて伝えている。	○		○	10
12	Unit 8 Is there anything money can't buy?	・提案や異議を述べたり、相手に配慮しながら意見を伝え合ったり、話し合いを帰結させたりするための適切な表現や方法を理解している。 ・提案や異議を述べたり、相手に配慮しながら意見を伝え合ったり、話し合いを帰結させたりするための適切な表現や方法を用いながら、学校の命名権について、情報や考えを論理的に詳しく話して伝え合う技能を身に付けている。 ・話し合いを帰結させて問題を解決できるように、学校の命名権について、聞いたり読んだりしたことを基に、相手の主張を正確に把握しながら、情報や考えを論理的に詳しく話して伝え合っている。	○		○	4

英語科 3 年		論理・表現Ⅱ		年間授業計画（シラバス）	
科目名	論理・表現Ⅱ	対象	スポーツコース	単位数	2 単位
教科書	FACTBOOK English Logic and Expression Ⅱ		出版社	桐原書店	
副教材	All Set 高校英語入門				

1 学習の到達目標

- ①英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。
 ②事実や意見などを多様な観点から考察する。
 ③論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を養う。

2 評価の観点・趣旨・方法、成績評価の方法

①評価の観点・趣旨・方法

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の内容	英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、言語の背景にある文化などを理解している。	事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら英語で伝えている。	コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。
評価の方法	学習活動への姿勢 ノートプリント 定期考査	学習活動への姿勢 ノートプリント 定期考査	学習活動への姿勢 ノートプリント 課題提出

②成績評価の方法

- ① の評価の方法によって、学年末にまとめます。

評価の内容 評価の内容 知識・技能 35%，思考・判断・表現 35%，主体的に学習に取り組む態度 30%

3 学習計画

※評価の観点：a（知識・技能），b（思考・判断・表現），c（主体的に学習に取り組む態度）

月	学 習 単 元	主 な 学 習 内 容 と 到 達 目 標	評価の観点			時間数
			a	b	c	
4	予習復習体験学習 Unit 1 How should we lead a healthy lifestyle?	・主語（無生物主語を含む）について理解し、適切に使うことができる。 ・健康の問題や健康のための習慣について自分の意見を述べることができる。 ・砂糖税の導入について意見文を書くことができる。	○		○	4
5	Unit 2 Steps we can take to Zero Hunger < 1 学期中間考査 > Unit 3 What are good and bad sides of urbanization?	・目的語や補語の拡張について理解し、適切に使うことができる。 ・飢餓を解決する方法について議論することができる。 ・食料寄付について、パートナーと短い会話をするることができる。 ・名詞の説明（前置詞句・分詞・to 不定詞，節）について理解し、適切に使うことができる。 ・大都市で起きている問題について議論することができる。 ・都市化が及ぼす影響について意見文を書くことができる。	○		○	7
				○	○	
				○	○	

6	Unit 4 Is your city sustainable enough?	・動詞句の説明、文の説明、レポート文について理解し、適切に使うことができる。 ・都市問題について聞いた情報をもとに説明することができる。 ・自分の住む地域の自治体に要望について議論したり書いたりすることができる。	○		○	8
7	Unit 5 Water supporting our lives	・進行形、完了形の表す意味や時制の一致について理解し、適切に使うことができる。 ・日本文化における自然物への信仰や野生生物保護公園の成功事例について、話し合うことができる。 ・環境保護のあり方について意見を述べたり書いたりすることができる。	○		○	1
8	< 1 学期期末考査 >					
9	Unit 6 How to live a plastic-free life	・受動態について理解し、適切に使うことができる。 ・プラスチックパッケージの廃棄やその代替素材について議論することができる。 ・プラスチックごみ削減を促進する企画を提案するメールを書くことができる。	○		○	6
10	Unit 7 How can we become more health-conscious?	・助動詞を使ったさまざまな表現や仮定法が使われる表現について理解し、適切に使うことができる。 ・海外でのボランティア活動や NGO の活動について情報を共有しながら議論することができる。 ・海外の国際機関で働きたいかどうかについて意見文を書くことができる。	○		○	7
	Unit 8 Challenges to equality	・原級、比較級、最上級を用いた比較表現について理解し、適切に使うことができる。 ・育児についてや女性のクオータ制が必要かどうかについて議論することができる。 ・ジェンダー平等について聞いた情報をもとに説明したり意見を述べたりすることができる。	○		○	
11	Unit 9 Produce locally, consume locally	・強調表現、倒置表現、代用・省略・同格・挿入の表現、話法について理解し、適切に使うことができる。 ・地産の食品を食べることについて、パートナーと短い会話をすることができる。 ・地産地消について意見文を述べることができる。	○	○		7
	< 2 学期期末考査 >					
12	Unit 10 Sharing as one way to create new value	・否定を表す表現（部分否定や準否定表現を含む）について理解し、適切に使うことができる。 ・シェアリングエコノミーについて、シェアハウスなどの事例をもとに議論することができる。 ・学校で始めてほしいシェアリングサービスについての要望書を書くことができる。	○		○	4

※学習状況により、進度・内容を変更することがあります。

英語科 3年		論理・表現Ⅱ		年間授業計画（シラバス）	
科目名	論理・表現Ⅱ	対 象	特 進 コース	単位数	2 単位
教科書	FACTBOOK English Logic and Expression Ⅱ		出版社	桐原書店	
副教材	大学入学共通テスト対策 重要問題演習 英語リスニング（ラーンズ）				
	大学入学共通テスト対策 直前演習 英語リスニング 30 minutes×7（ラーンズ）				

1 学習の到達目標

- ①英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。
- ②事実や意見などを多様な観点から考察する。
- ③論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を養う。

2 評価の観点・趣旨・方法、成績評価の方法

①評価の観点・趣旨・方法

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の内容	英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、言語の背景にある文化などを理解している。	事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら英語で伝えている。	コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。
評価の方法	学習活動への姿勢 ノートプリント 定期考査	学習活動への姿勢 ノートプリント 定期考査	学習活動への姿勢 ノートプリント 課題提出

②成績評価の方法

① の評価の方法によって、学年末にまとめます。

評価の内容 評価の内容 知識・技能 35%，思考・判断・表現 35%，主体的に学習に取り組む態度 30%

3 学習計画

※評価の観点：a（知識・技能），b（思考・判断・表現），c（主体的に学習に取り組む態度）

月	学 習 単 元	主 な 学 習 内 容 と 到 達 目 標	評価の観点			時間数
			a	b	c	
4	予習復習体験学習 Unit 1 How should we lead a healthy lifestyle?	・主語（無生物主語を含む）について理解し、適切に使うことができる。 ・健康の問題や健康のための習慣について自分の意見を述べることができる。 ・砂糖税の導入について意見文を書くことができる。	○		○	4
5	Unit 2 Steps we can take to Zero Hunger < 1 学期中間考査 > Unit 3 What are good and bad sides of	・目的語や補語の拡張について理解し、適切に使うことができる。 ・飢餓を解決する方法について議論することができる。 ・食料寄付について、パートナーと短い会話をするることができる。 ・名詞の説明（前置詞句・分詞・to 不定詞、節）について理解し、適切に使うことができる。 ・大都市で起きている問題について議論することができる。	○		○	7
			○		○	
				○	○	

6	urbanization?	・都市化が及ぼす影響について意見文を書くことができる。		○	○	8
	Unit 4 Is your city sustainable enough?	・動詞句の説明、文の説明、レポート文について理解し、適切に使うことができる。 ・都市問題について聞いた情報をもとに説明することができる。 ・自分の住む地域の自治体に要望について議論したり書いたりすることができる。	○		○	
7	< 1 学期期末考査 >					1
8						
9	Unit 5 Water supporting our lives	・進行形、完了形の表す意味や時制の一致について理解し、適切に使うことができる。 ・日本文化における自然物への信仰や野生生物保護公園の成功事例について、話し合うことができる。 ・環境保護のあり方について意見を述べたり書いたりすることができる。	○		○	6
	Unit 6 How to live a plastic-free life	・受動態について理解し、適切に使うことができる。 ・プラスチックパッケージの廃棄やその代替素材について議論することができる。 ・プラスチックごみ削減を促進する企画を提案するメールを書くことができる。	○		○	
10	< 2 学期中間考査 >					7
	Unit 7 How can we become more health-conscious?	・助動詞を使ったさまざまな表現や仮定法が使われる表現について理解し、適切に使うことができる。 ・海外でのボランティア活動や NGO の活動について情報を共有しながら議論することができる。 ・海外の国際機関で働きたいかどうかについて意見文を書くことができる。	○		○	
	Unit 8 Challenges to equality	・原級、比較級、最上級を用いた比較表現について理解し、適切に使うことができる。 ・育児についてや女性のクオータ制が必要かどうかについて議論することができる。 ・ジェンダー平等について聞いた情報をもとに説明したり意見を述べたりすることができる。	○		○	7
11	Unit 9 Produce locally, consume locally	・強調表現、倒置表現、代用・省略・同格・挿入の表現、話法について理解し、適切に使うことができる。 ・地産の食品を食べることについて、パートナーと短い会話をする ・地産地消について意見文を述べる ・地産地消について意見文を述べる ・地産地消について意見文を述べる ・地産地消について意見文を述べる	○	○		
	< 2 学期期末考査 >					
12	Unit 10 Sharing as one way to create new value	・否定を表す表現（部分否定や準否定表現を含む）について理解し、適切に使うことができる。 ・シェアリングエコノミーについて、シェアハウスなどの事例をもとに議論することができる。 ・学校で始めてほしいシェアリングサービスについての要望書を書くことができる。	○		○	4

※学習状況により、進度・内容を変更することがあります。

英語科 3 年		発展英語		年間授業計画（シラバス）	
科目名	発展英語	対象	進学コース	単位数	4 単位
教科書	— 出版社 —				
副教材	THE LEVELS 1（旺文社） Engage 3rd edition（いっずな書店）				

1 学習の到達目標

- ①英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。
 ②事実や意見などを多様な観点から考察する。
 ③論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を養う。

2 評価の観点・趣旨・方法、成績評価の方法

① 評価の観点・趣旨・方法

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の内容	英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、言語の背景にある文化などを理解している。	事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら英語で伝えている。	コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。
評価の方法	学習活動への姿勢 ノートプリント 定期考査	学習活動への姿勢 ノートプリント 定期考査	学習活動への姿勢 ノートプリント 課題提出

②成績評価の方法

① の評価の方法によって、学年末にまとめます。

評価の内容 評価の内容 知識・技能 35%，思考・判断・表現 35%，主体的に学習に取り組む態度 30%

3 学習計画

※評価の観点：a（知識・技能），b（思考・判断・表現），c（主体的に学習に取り組む態度）

月	学 習 単 元	主 な 学 習 内 容 と 到 達 目 標	評価の観点			時間数
			a	b	c	
4	予習復習体験学習 Lesson 1	・関係詞の継続用法について理解し、適切に使うことができる。 ・ある土壌汚染の測定方法について理解し、自分の意見を述べる ことができる。	○		○	8
5	Lesson 2	・分詞構文について理解し、適切に使うことができる。 ・地図帳の父アブラハム・オルテリウスについて読み、感じたことを伝え合い議論することができる。	○		○	10
	Lesson 3	・使役動詞の用法を理解し、適切に使うことができる。 ・英語の進化とインターネットの関連について読み、自分の意見を述べる ことができる。	○		○	
	< 1 学期中間考査 >					
	Lesson 4	・形式主語や不定詞の形容詞的用法を理解し、適切に使うことができる。 ・ある図書館についての文を読み、感想を伝えることができる。	○		○	

6	Lesson 5	・関係代名詞について理解し、適切に使うことができる。 ・クラウドファンディングについて議論したり書いたりすることができる。	○		○	12
	Lesson 6	・動名詞や接続詞について理解し、適切に使うことができる。 ・ユーモアについて読み、利点などを話し合うことができる。		○	○	
	Lesson 7	・補語になる不定詞について理解し、適切に使うことができる。 ・代替肉について読み、環境問題や食糧問題について議論することができる。	○		○	
	Lesson 8	・同格の名詞や分詞の名詞修飾を理解し、適切に読解できる。 ・砂不足について理解し、その対策について自分の意見を述べることができる。	○		○	
7	< 1 学期期末考査 >			○	○	1
8	Lesson 9	・無生物主語について理解し、適切に読解できる。 ・シマウマの縞模様についての科学者たちの考察を理解する。	○		○	1
9	Lesson 10	・不定詞を理解し、不定詞で始まる文を正しく読解できる。 ・仮定法過去について理解し、適切に使うことができる。 ・「地球村」という言葉が持つ意味と現実を理解し、インターネットの影響や私たちのすべきことについて議論できる。		○	○	12
10	Lesson 11	・結果を表す不定詞や完了形を用いた助動詞について理解し、適切に使うことができる。 ・動物の発声学習について様々な事例を元に意見を交換できる。	○		○	10
	Lesson 12	・代動詞 <i>do</i> や同格の <i>that</i> 節について理解し、適切に使うことができる。 ・古代哲学者たちの発見について読み、哲学分野の知識や興味を深めることができる。	○		○	
11	Lesson 13	・形容詞で始まる分詞構文や付帯状況を表す <i>with</i> について理解し、適切に使うことができる。 ・古代オリンピックについての知識を深めることができる。	○		○	8
	< 2 学期期末考査 >			○	○	
12	Lesson 14	・不定詞の否定形について理解し、適切に使うことができる。 ・副詞節や前置詞句を含む <i>that</i> 節を正しく読解できる。 ・正直さの実験について読み、感じたことを伝え合い議論することができる。	○		○	6
	Lesson 15	・部分否定について理解し、適切に使うことができる。 ・<i>if</i> 節を受ける代名詞 <i>that</i> を理解し、正しく読解できる。 ・成功と失敗について自分の意見を述べるすることができる。	○		○	
			○		○	
				○	○	

※学習状況により、進度・内容を変更することがあります。